

平成 31 年度 藤沢白門会の活動



片岡会長、節目を迎えた第 25 回総会で飛躍を目指す開会宣言
(平成 31 年 4 月 28 日)



平成最後のエール、小山副会長が新たなる元号へ続く貫禄の締めを決める
(平成 31 年 4 月 28 日)

令和元年度 藤沢白門会の活動



中信支部総会を訪ねた折、北アルプスの絶景を
小林治雄中信支部長、渡辺紀久子名古屋支部長（当時）と（令和元年6月2日）



今年度は片岡会長のご厚意もあり、新人歓迎バーベキュー大会が会長宅で行われました
（令和元年6月22日）

令和元年度 藤沢白門会の活動



今年は穏やかな天候も幸いして2年振りの開催となる地引綱。
1年待った分の想いもあってか予想外の大漁でした！（令和元年8月24日）



県下合同白門会での目玉、田辺凌鶴氏の金栗四三を題材にした講談。
会場を大いに沸かせる熱弁を振るってくれました（令和元年11月2日）

令和元年度 藤沢白門会の活動



箱根駅伝本戦往路。3区で2年生の三浦拓朗選手が、順天堂大学4年生の橋本龍一選手と果敢に並走する、手に汗握るシーン（令和2年1月2日）



復路8区。シード入りが危ぶまれる中、3年生の矢野郁人選手が一步であれども前へと必死に食らいついていく（令和2年1月3日）

令和元年度 藤沢白門会の活動



駅伝の結果は惜しくも総合 12 位。また翌年への再起を誓って、藤沢白門会の拠り所『花鳥風月』で一丁締め（令和 2 年 1 月 3 日）



令和初の新春の集い。創立 25 周年の記念すべき年にしたいですね（令和 2 年 1 月 26 日）

創立25周年を迎えて

藤沢白門会
会長 片岡 久興



昨年5月に年号が平成から令和に変わり、新しい時代の幕開けがありました。私達も新たな気持ちでチャレンジ精神を発揮し、藤沢白門会の発展・飛躍の為に当面の課題である「活性化」（会員の増、サークル活動の充実）をクリアしていかなければなりません。その為に発想の転換を図りつつ色々手を打ってきましたが、なかなか思うような成果は得られなかったのが実情です。しかし課題達成の挑戦は止める訳にはいきません。今後も、会員各位のご協力をお願い致します。

計画をした行事はお蔭様で順調に進んできました。8月の地引網大会は120人の参加で好天にも恵まれ、久し振りの大漁で大いに賑わいました。

秋になってからは関東、中部、東北地方に連続して大型の台風が襲来をし、甚大な被害をもたらしました。その中で秋季東都大学野球（一部）に於いて、中大は15年ぶりの優勝をしました。私は、優勝を決めた立正大との試合を観戦しました。8回裏に4点のビハインドをものともせず大逆転で勝利しました。本当に見事な試合で、皆が喜んで胴上げを何回も繰り返し、見ている私も感激をしました。

11月には、神奈川県内にある九つの白門会が年に1回集まる「合同白門会」が今回は藤沢の幹事により開催しました。昨年5月に学員会本部より賜った「神奈川県合同白門会」の旗＝「ブロック旗」のお披露目を兼ねたところですが、意味するところは「神奈川は一つ」ということでもあります。そこで、各白門会の代表が集まって「合同白門会」の課題等について意見交換会を開き今後も続けることにしました。私としましても「ブロック旗」がある

中で、県内に白門会がまだ無い地域にこれから白門会を立ち上げていかなければと考えております。

正月は、第96回箱根駅伝が絶好のコンディションのなかで行われました。12位という結果で8年連続予選会ということになってしまいました。色々と批判はあるとは思いますが、去年は堀尾、中山がいても11位なので今回の結果は止むを得ないのかなと私は考えております。しかもタイムは昨年より約7分も上回っており、中大新記録でもありました。

藤沢白門会は平成7年（1995年）12月に設立しましたので本年度で満25年となります。11月に記念の行事を開催する予定にしております。会員各位と共にこの催しを盛り上げたいと考えておりますので、どうぞご意見、アドバイス等宜しく願いをします。

地域への貢献事業として、社会福祉活動委員会が中心となって平成12年度から皆さまのご寄付による「車椅子」を藤沢市に寄贈しております。今期も新春の集いの時に2台寄贈し累計で33台となりました。今後も継続していきますのでご協力のほどよろしくお祈いします。

平成17年（2005年）から姉妹支部の提携をした長野県中信支部との交流については、年1回程度は相互に行き来することで、未永く続けてまいる所存です。

本年も例年と同様の事業も進めてまいります。25周年というビッグイベントもございます。私も全力を傾注してまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いする次第です。



特報：母校野球部、 15年ぶり優勝祝賀会盛り上がる

中央大学硬式野球部の「東都大学野球秋季リーグ戦優勝祝賀会」は、令和元年12月20日（金）に品川プリンスホテルにおいて開催された。

優勝は実に30季、15年ぶりという快挙のもとに、会場は祝賀・感激・感動に包まれた。受付時刻の午後5時半を前にして早くも長蛇の列。中央大学関係者、学員会、野球部OB・OG会、東都大学野球関係者などが出席して、定刻午後6時には会場は満たされた。

定刻となり、硬式野球部の福原紀彦部長（中央大学学長）が開会の辞、これよりスタート。祝賀の挨拶が次々と続き、改めてお祝いの気持ちを高めるとともに、優勝のもつすばらしい感動が会場に溢れた。

校旗を掲げた応援団、応援バンドの指揮のもと、応援歌、校歌を朗々と合唱。チアガールによる鮮やかな演舞も力強く、会場の雰囲気盛り上げていた。会場の舞台では、優勝旗をもった選手諸君が登場、監督、コーチらに大きな拍手が贈られた。大工原主将の挨拶、清水監督の挨拶には、優勝への苦難と優勝の達成感把握が受け止められた。春季リーグ戦からの壮烈な1部、2部の入れ替え戦、その苦闘を乗り越え秋季に一丸となって優勝の実を結んだのであった。

硬式野球部のスローガンは〈逆転の魂〉であった。苦境を跳ね返して、勝利をつかむ中央大学野球部の不屈の精神と力は高く賞賛されよう。監督、コーチ、選手諸君、関係者に「頑張ってくれましたね。優勝をありがとう」の意を表したいところ。祝賀会に列席された宮井元監督、秋田元監督にも満面の笑みが見られた。



OB代表として、読売巨人ジャイアンツの阿部慎之助2軍監督が祝辞の中で、来春に読売ジャイアンツと中央大学野球部の交流試合を予定していると言明、会場は朗報にどよめいた。

祝賀会の締めくくりをOB会の末次会長が謝辞と、さらに優勝連覇への期待を表明した。

賑やかな会場の中で、参加者は優勝感動を織り込んで閉会となった。当日、藤沢白門会から片岡久興会長、服部治相談役が出席して優勝を祝賀した。

会員随想

(掲載順不同)



「人を戀うる歌」の歌詞考

昭和 29 年経済学部卒 高島良太郎

「妻を娶らば才たけて」で始まるこの歌は学生時代に歌詞の意味などあまり気にせず、歌っていた。旧制三高の寮歌でもある。旧制高校の学生は十分理解して歌っていたと思われる。

「人を戀うる歌」詩は明治34年3月15日発行の「鉄幹子」掲載、「明治三十年八月京城に於作る」とある。その後明治38年に、曲が作られた。



作詞 与謝野鉄幹 作曲 作者不明 明治38年(1905)

1. 妻をめとらば才たけて
みめ麗しく情けある
友をえらばば書を読み
六分の^{りくぶ}俠気四分の熱
元の詞では「みめ麗しく」が「顔麗しく」となっている。
「書を読み」は「書を読んで」
2. 戀のいのちをたづぬれば
名を惜しむかなをとこゆゑ
友のなさをたづぬれば
義のあるところ火をも踏む
3. くめやうま酒歌姫に
をとめの知らぬ意気地あり
簿記^{ぼき}の筆とるわかものに
まことのをとこ君を見る
歌姫は^{きーせん}妓生で鉄幹と交情の有った女「白梅」
若くして亡くなった
「簿記の筆」は鉄幹の友人で実業家で
壮士、勇ましいだけが男ではない。
4. あゝわれコレッジの奇才なく
バイロンハイネの熱なきも
石を抱きて野にうたふ
芭蕉のさびをよるこはず
コレッジはカミュエル・アイラー・コールリッジ
(1772 ~ 1834) 英国の詩人、日本ではあまり知られていない
ので、後にダンテと歌われるようになった。
5. 人やわらへな業平が
小野の山ざと雪を分け
夢かと泣きて歯がみせし
むかしを慕^{しよ}ふむら心
^{これたか}惟嵩親王(第五十五代文徳天皇の第一王子)は藤原良房の
反対で立太子争いに敗れ、京都郊外の小野の山里に隠棲し
たのを六歌仙の一人在平業平が雪の中を慰めに訪れ、悔し
がってむかしを懐かしがるのを人は笑うであろうが、心は
そうになってしまう。

6. 見よ西北にバルカンの
それにも似たる國のさま
あやふからずや雲裂けて
天火ひとたび降らんとき

バルカン半島は民族の興隆、衰退の繰返しが続く、第一次大戦の発火。朝鮮は日本の西北、清の冊封体制から離脱した李王朝の大韓帝国はロシアと日本の狭間でバルカン半島に似た国、天火は大事件。

7. 妻子を忘れ家をすて
義のため耻を忍ぶとや
遠くのがれて腕を摩ス
ガルバルディや今いかん

ガリバルディ（1807～1882）はイタリア軍人。幾度も国外に逃れつつ分裂していたイタリア統一に生涯を尽くした。

8. 玉をかざれる大官は
みな北道の訛音あり
慷慨よく飲む三南の
健児は散じて影もなし

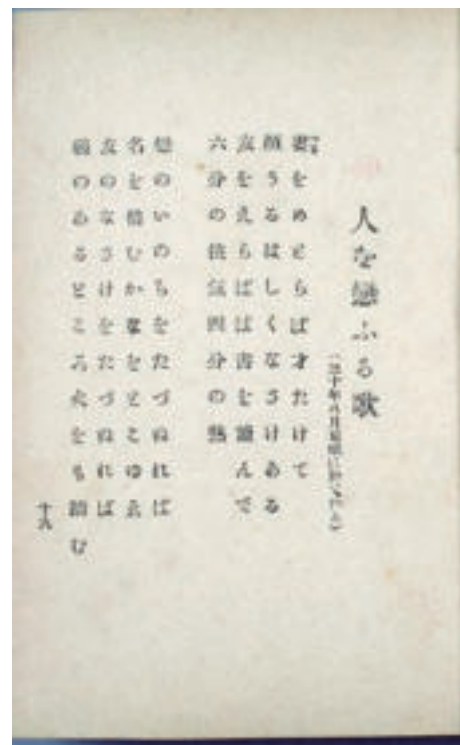
朝鮮の高級官僚は韓国北部の黄海道、平安道、咸鏡道出身で方言、三南は忠清道、慶尚道、全羅道。
不運を憤り酒を飲む、
逞しい男は居なくなった。

9. 四度玄海の浪をこえ
韓の都に來てみれば
秋の日かなし王城や
むかしにかわる雲の色

鉄幹は四度朝鮮に渡っている。
韓の都「漢城」日韓併合後「京城」大韓帝国はまだ近代国家になっていない、
変わっているのは雲の色だけ。

10. あゝわれ如何にふところの
劔は鳴りをひそむとも
咽ぶ涙を手を受けて
かなしき歌の無からめや

「鳴りをひそむ」は「鳴りをしのぶ」
「無からめや」は「無からんや」





11. わが^{うたこゑ}歌声の高ければ
酒に狂ふと人のいふ
われに過ぎたるのぞみをば
君ならではた誰か知る

「人のいふ」は「人の云へ」

12. あやまらずやは真ごころを
君が詩いたくあらはなる
むねんなるかな燃ゆる血の
^{あたひ}價すくなき^{すゑ}末の世や

13. おのづからなる^{あめつち}天地を
戀うるなさは^も洩らすとも
人を^{ののし}罵り世をいかる
はげしき歌をひめよかし

14. 口をひらけば^{ねた}嫉みあり
筆を^{にぎ}握れば^{そし}譏りあり
友を^{いさ}諫めに泣かせても
^{なお}猶ゆくべきか^{かうしゅだい}絞首臺

この世は何か口にすれば、嫉まれ
何かを書けば非難される
絞首台で死刑になるべきでない
我慢しよう？

15. おなじ^{うれ}憂ひの世に住めば
千里のそらも一つ家
己が^{おの}袂と云ふなかれ
やがて二人の涙ぞや

16. はるばる寄せしますらをの
うれしき^{ふみ}文を^{そで}袖にして
けふ^{ほくかん}北漢の山のうへ
^{こま}駒たて見る^ひ日の^い出づる方

北漢の山は京城の北にある^{ふかんさん}北漢山
三つの峰がある（836m）

5番は当時の韓帝国国内の政治的不遇者に対する同情を惟喬親王の運命に重ねたと思われる。明治34年3月15日発行の「鉄幹子」発表の詞には「明治三十年八月京城に於作る」とある。明治38年の「人を戀うる歌」の歌詞と幾分違いがある。最初の詩との違い。

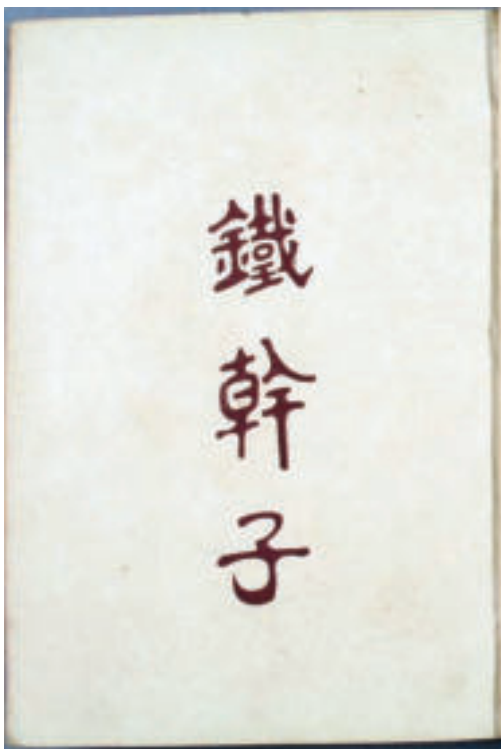
1番の「みめ麗しく」は「顔うるわしく」、「書を読みて」は「書を読んで」。4番の「ダンテ」は「コレッジ」、10番の「劔は鳴りをひそむ」は「鳴りをしのぶ」、11番の「人の云う」は「人は言へ」となっている。

鉄幹は明治30年、大韓帝国時代に日本語教師をしていた。

作詞したのは明治30年、1897年、日韓併合の十三年前、発表した1905年は五年前。

日清戦争後、清の冊封から独立した李王朝は大韓帝国として独立したと言っても近代国家としての体をなしていなかった。この事を、憂えての歌と思われる。

作曲者は不明だが、奥好義（1857～1933）雅楽師、作曲家という、説もある。



中央大学空手部から学んだ人生の素晴らしさ

平成4年商学部卒／平成11年大学院総合政策研究科修了 土屋恭之

1. 大学空手部入部

中央大学空手部は日本本土に初めて空手道を普及させた沖縄県出身の船越義珍先生が、直接中央大学空手部にご指導をされた戦前から続く伝統ある空手部です。私は昭和63年(1988年)に中央大学に入学をしましたが、大学1年生の頃は大学で何をすべきか。将来の自分の人生に悩む1年間を資格試験の勉強やアルバイトで生活費を稼ぐ日々を過ごしていました。その後、こんな学生生活ではいけないと思い直し、大学2年生になると1年遅れのスタートでありましたが、中央大学空手部に新入部員(1年生)として入部しました。

中央大学学友会の多くの部活動は、高校時代に全国大会で活躍した選手のみが入部できる部活が多かったのですが、その中でも空手部はスポーツ推薦がなく大学から空手道を始める初心者がほとんどでした。その理由は中央大学空手部には優勝を争う競技試合がなく、船越義珍先生が空手道を競技スポーツではなく、紳士の武道を目指す人間教育の場として空手道を発展させたいという想いがあったからなのです。現在、多くの大学空手部が競技試合を実施しているが、その中でも中央大学、専修大学、学習院大学、成城大学等は社会で活躍する青年を育成し、立派な学生を社会に送り出す使命がある大学の理念を後押しする武道として、スポーツだけに片寄せない文武両道の大切さを伝えることができる武道として一般学生に大きな影響を与えています。中央大学空手部は多くの卒業生を輩出し、その中でも高木丈太郎先輩(三菱地所元社長)、加藤博文先輩(地所ホーム社長)、弁護士、国家



○令和元年9月 中央大学空手部夏合宿
(福島県猪苗代) 筆者(右から5番目)



○全体集合写真(師範、監督、学生及びOB)

公務員総合職、公認会計士など多くの方が社会で活躍され、多くの職場で高い評価を受けられたことは何よりも船越先生の指導を忠実に守ってきた空手部の結果だと言えます。

2. 空手指導者への歩み

私が大学を卒業した後、25歳の頃に地域の方々のために空手道の経験を活かして何かできることはないだろうか。そんな思いから辻堂駅の明治市民センターで空手サークル（名称：空手道孔仁門クラブ）を発足させました。いじめられている子供の問題に頭を抱える父母などに空手を教えるだけでなく、子供の育成に日々悩みました。しかしながら、昔いじめられていた子供が東京農工大で教師を目指す者、引っ込み思案だった性格の子供が自信を取り戻し、湘南高校に入学し今年東大を受験するなど、空手指導者の立場から貴重な経験を得られたことは良かったと思います。

空手道の言葉の中に、「一生稽古」という言葉があります。これは空手道の稽古を生涯貫くという意味がありますが、もう一つの意味として「生きる」というテーマにつながります。それは人生を生きる事は大変である。しかし、「どんな事があっても、生きろ!」、先生方の私たちへの幸せに生きてほしいというエールではないかと思います。多くの友と稽古を行い、酒を飲みかわし、人生を語り合う。そして、先輩方の生き方から多くの事を学ぶこともできます。もし私が空手道との出会いがなければこれほどまでに充実した人生を歩むことは出来なかったのではないかと思います。

最後に、みんなに会えてありがとう。そして、このような随想の機会を頂き、藤沢白門会の皆様に心から本当に御礼を申し上げます。

(参考) 空手道孔仁門クラブホームページ

<https://www.bizsystem.co.jp/koujinmon/contents1.html>



○平成30年10月 孔仁門クラブ演武後の集合写真（於：明治公民館）

先生へ・・・

平成 16 年法学部卒 岸本寛之

弁護士の業界は、お互いに「先生」と呼び合う慣わしがあります。

これは敬称ではなく、長年の慣行ということなのでしょう。一部では「弁護士の名前は覚えなくても、『先生』と呼んでおけばいいから便利」なんて言われてしまっています。

だから私は、お相手に「名前を覚えられていない」という誤解を受けないように「〇〇先生」、「〇〇さん」とお名前でお呼びするようにしています。

そんな中、私がそのまま「先生」とお呼びする方がいました。

前所属事務所の所長弁護士、松家里明先生です。

私が単に「先生」と呼ぶときは、松家先生のことを指します（もちろん、前事務所に所属していた当時、対外的には「松家」と苗字のみで呼んでいましたが。）。

先生は、昭和 8 年生まれ、中央大学法学部出身。在学中は下宿しながら一滴もお酒を口にすることなく勉強に集中し、栄養失調や首の骨を削る大手術等の困難を乗り越えて司法試験に合格、その後、日本弁護士連合会副会長、第一東京弁護士会会長、横綱審議委員、そして中央大学理事を歴任された方なのです。

また、中央大学多摩キャンパスの研究棟「炎の塔」の名付け親でもあります。

他方、中央大学在学中の私は、実家暮らし、「記憶がなくなるまで飲まなきゃ酒を飲んでる意味がない」ともいう勢いで飲み会に参加し、研究室にも所属していません。炎の塔には足を踏み入れたこともありませんでした・・・。

先生との共通点は「中央大学法学部出身」ということのみ。先生がこんな私を採用してくれたのも、中央大学出身だからという理由だけしかなかったのでしょうか。まさに中央大学がつないでくれたご縁でした。

先生の教えの中から・・・

「岸本くん、弁護士はいつまで経っても新しいことにアンテナ張ってないとダメだよ。生涯現役、日々勉強！」

「岸本くん、お座敷に呼ばれるうちが華。ご縁は大切にするもんだ。どんなに頭が良くても、どんなに勉強しても、人が集まってきてくれないと弁護士は流行らんよ。」

「岸本くん、弁護士は何も偉くないんだから。常に『日々感謝』の気持ちを持って、相手を立てるんだよ。相手が年上でも年下でも関係なく、威張らず感謝感謝の気持ちでね。」

・・・などなど

私は5年前に独立開業しましたが、いまの自分は、この先生から教えを受けた「弁護士像」で成り立っています。

先生は、私にとって弁護士としての師であり、人付き合いの師であり、人生の師、「先生」という文字どおりの尊敬対象でした。

さて、なぜ今ここで、私が先生のことを書いているのかというと・・・

実は、今年9月23日、先生がご逝去されました。満86歳、生前から宣言されていたとおりの生涯現役でした。

私は、先生から「日々感謝！」の気持ちの大切さを教えてもらったにもかかわらず、振り返ってみれば、先生に、ちゃんと感謝の気持ちを伝えられずにいました。

そこで、勝手ながら今回、この場をお借りして先生への感謝の気持ちを述べさせていただきたいと思います。

~~~~~  
先生へ

先生、今年4月には保育園の年長になる私の息子を膝に乗せ、「来年は小学校入学のお祝いしような。私もまだまだ元気に現役でいるからな」とおっしゃってくれた先生。そのときに、回らないお鮪をご馳走になった息子は、6歳にして「おすし好き」を公言するようになってしまいました（笑）

先生、「岸本くんはちゃんとやっているのか」と独立後も常にお気にかけてくださっていた先生。いつか「ちゃんとやれています！」と胸を張って答えられる姿を見せたかった。4月にあんなお元気だった先生が、突然にこのような形でお別れになるなんて、と信じられない気持ちでいます。

先生、弁護士歴60年の先生に比べれば、私はまだまだ駆け出しのヒヨッコです。でも、先生のご指導のおかげもあり、今では、中央大学白門会をはじめ、いろいろな方々とのご縁によって支えられて毎日を過ごすことができます。

先生、これからも最後の直弟子として恥ずかしくないように、先生の教えを胸に刻み、がんばっていきます。

生涯現役で86年間を駆け抜けてこられた先生。ようやく色々な責任等の重荷を下ろすことができたのだと思います。どうかゆっくりとお休みになられてください。

先生、今まで本当にありがとうございました。



# 東京モーターショー体験記

平成 27 年総合政策学部卒 白石桃子

東京モーターショーに行ってきました！

今年は 10/25 から 11/4 まで開催され、期間中は 130 万人が来場したそうです。昨年の来場者は 77 万人ということなので、今年は特に盛況だったことがわかります。実際会場は活気に溢れ、ペーパードライバーの私でも楽しむことができました。

今回会報に投稿する機会を頂いたので、せっかくなら東京モーターショーに行った体験記を書かせて頂こうと思います。よろしければお付き合いください。

11月3日、前日ディズニーランドで遊んでいた寝不足の妹を叩き起こし、東京モーターショーの会場に向かいます。今年のモーターショーはビッグサイトと青海展示場と二つのエリアに分かれての開催です。私はすぐにでも会場に向かいたかったのですが、睡眠不足の妹が予想以上に不機嫌になってしまったので、会場に到着前に早めの昼食をとることになりました。奢られました。思いがけない出費です。

満腹になり元気を取り戻した妹と、財布が軽くなり悲しみに沈む私はようやく最寄りの東京テレポート駅に到着。既に大勢の人で溢れています。モーターショーってこんなに人が集まるのかと圧倒されつつ、流れに乗って入場ゲートに向かいます。一步会場に踏み入ると、キラキラとスポットライトを浴びた自動車が並んでいます。正直、私も妹も車の良し悪しなど何も分かりません。ですが、喋るトラックや自動運転車など、最先端技術の結晶を見ているとそれだけでワクワクしました。



しばらく会場を彷徨いながらメーカーごとに車を見て楽しんでいましたが、楽しげな催しがたくさん開かれています。一等はミニカーが貰えるというので、くじ引きに参加します。直感に従い紙を掴むと、二等！なかなかの幸運です。何が貰えるのかと期待していると、係員から手渡されたのは、鼻眼鏡。宴会用でしょうか？使い道が分からず、今も持て余しています。どなたか欲しい方はいらっしゃいますか？いつでも差し上げます。ちなみに、妹は三等のポケットティッシュでした。

屋外には珍しい屋台も並んでいます。台湾ラーメンに韓国のハッドグ。どれも美味しそうです。しかし、私達はすでに昼食を食べて満腹です。諦めざるを得ません。ああ、ハンバーグなんて食べなければ良かった。しかも奢られたんだって。後悔が募ります。

くじ引きの景品でもらった鼻眼鏡です。

トヨタ自動車の豊田章男社長がモデルのようです。

---

---

屋台に並ぶ人を羨みながら、私達は電動キックボード体験に挑みます。電動キックボードは排気ガスの出ないエコな乗り物として海外で普及が進んでいるそうです。「出不精で運動嫌いの私でも気軽に外出できるかも！」と電動キックボードに強い期待を抱く私は「100分待ち」というスタッフの説明に怯むことなく行列に加わります。結局120分並び、私達の順番が回ってきました。

まずはスタッフから運転方法を指導されます。危ないのでスピードは時速10kmまで、ブレーキは自転車と同じ、横断歩道はキックボードを降りて手で押すこと……2、3分簡単な説明を受けたら早速出発です。今年のモーターショーはビッグサイトと青海展示場の二つの会場に分かれていると書きましたが、実はこの二つの会場は1キロほど距離が離れているのです。歩くにはちょっと面倒な距離ですが、この試乗体験では電動キックボードに乗ったまま移動することができるのです。混雑の中、歩いている人たちを横目に風をきって走るのはなかなか爽快です。15分程で試乗体験は終了。実際に乗ってみた電動キックボードは楽しかったのですが、意外と疲れるものでした。思ったよりもスピードが出るので体が緊張していたようです。腕の筋肉が強張り、翌日には筋肉痛になってしまいました。

さすがに少し疲れつつも、最後までモーターショーを満喫しきった私と妹。電車で揺られながらウトウトしていると、妹がボソッと呟きました。「まあどれだけ良い車でも私達ペーパードライバーは運転しないから意味ないよね」

……モーターショーで見た自動運転のあの車、早く普及しないかな。車庫入れもままならない私は更なる技術の進歩に期待する他ないのでした。



電動キックボードに乗る私(右)と妹(左)です。

# 習い事のスズメ

平成9年経済学部卒 塚本博信

みなさんこんにちは。私は1997年経済学部卒業の塚本です。叔父二人が法学部、父は経済、何となく中央大学に縁があるような・・・

私について凄く簡単にお話すると「陳氏太極拳の免許皆伝者」です。一般のイメージの太極拳ではなく、その源流。荒野にある村を兵士崩れの野盗達から護る為に出来た武術です。悪環境を生き抜く健康法や生活の処し方も含まれた、中々学ぶ事が多岐に渡る・・・以下略

さて、太極拳やら武術の話を書き連ねてもあまり面白くないので、そういった習い事と実生活のつながりについて紹介してみたいと思います。



名門・王雁武術館のボス、王長江先生。私も修行時代は毎日6時間。大変でしたー。



ホントは私は一番後ろでとるべきなのですが、先生方と友人達に前でとれと言われた奇跡の一枚。

太極拳発祥の地、陳家溝に私の所属する「王雁武術館」と言うのがあります。私はこの洛陽派に所属しています。王雁武術館は最大で20名が宿泊できて、全国各地から練習生が泊まりに来て、現地の練習生と汗を流しています。大体の年齢構成ですが、族長の王長江72を筆頭に高弟が40代3名、練習生は10代～60代まで老若男女。海外からの練習生も当然ながらいます。流石に、若年層と初心者の60代が撃ち合っても勝負になりませんが、自重を使つての鍛錬と学問です。年齢を問わず切磋琢磨できますし、何しろ世代間交流がとても気持ちいいです。……で、72歳の王長江先生には誰も太刀打ちできません。練習量の違い、積み重ねの違いです。朝練習に集まって、すぐに仕事や学校に移動しない学生達は師の元で世代を超えて朝ご飯、お昼も、夕飯もその様な形です。

私の師父の奥様。同じく達人です！



河南省の郷土料理  
羊スープは朝ご飯。



太極拳発祥の地で先生方と大宴会、40人集まりました。日本語も英語も通じません！

修行中の大雪  
もちろん休みなどありません！



しかし厳しい修行を乗り越えた後は…長老達を囲んで御食事会。安らぎの一時…？

私が指導する養芯会と言う団体は5歳～65歳の学生が切磋琢磨しています。且つて小学生だった子供が大学生になって復帰し、おじさん達から就職や人生について相談をしている姿はうれしい気持ちになります。オジサンオバサンは若いのにナメラレナイように、自己の研鑽に励みます。



陳氏太極拳養芯会です。現在本部 + 支部で5か所の教室があります。

練習風景。緩やかなれど皆真剣な表情、スキが全く見えない一糸乱れぬ動き。



威力は別にして、出来ているか出来ていないかは一目瞭然です。養心会だけでなく、年齢や性別は関係なく、仕事や続柄も全く関係なく学んで鍛えて交流できるのが伝統文化や伝統武術です。

藤沢には様々な文化・武道の先生、しかも高等な方がいるはず。そういった道場やグループを探して、新しいチャレンジをしてみたいはかがでしようか？きっと新鮮な毎日が始まりますよ！

「初心者ですが、大丈夫ですか？」

「いえいえ、初心者さんも大歓迎なんですよー」  
(これ本音です)



弟弟子。でっかいですね！！

補足！

現在、私は武術家としてだけでなく、紙芝居作家としてデビューしました。

日本・中国・アジア諸国の武術の伝承を元にしたお話です。ご支援おねがいしまーす！



紙芝居「おじいちゃんたくろだぬき」(塚本さん画)



结束了！ 谢谢您！ (終わります！有難うございました！)



---

---

# 藤沢白門会の行事活動

---

---



# 第 25 回定期総会開催

## ～令和時代を迎えて更なる飛躍を～

4月28日（日）藤沢市民会館にて第25回定期総会が開催されました。司会は澤田副会長。初めに昨年、亡くなられた先輩方への黙禱に続き校歌斉唱が行われました。

片岡会長からは「藤沢白門会は平成7年に発足以降、23年間平成と共に歩んできた。その平成が終わる最後の年の総会となり名残惜しい、令和になったが引き続き支部の発展・飛躍に向け新たなチャレンジをしていきたい。当会最大の懸案である会員減少の問題に対してはまだ十分とは言えない。大きな課題：会員増強・活性化策に対して特に若者、女性を取り込むよう発想の転換により会員増強策を講じたい。それが出来ないと将来の展望が開けない」と挨拶があり、危機感と併せて強い意志を感じました。会員全員で共有して具体的な対策を講じたいと考えます。

その後、議事に則り第1号議案「昨年度の活動状況」の報告。予定した事業計画は強風の影響で中止となった地引き網以外はいずれも順調に行われた旨の説明がありました。次に第2号議案「昨年度収支決算及び監査報告」。第3号議案「新年度の行事計画（案）」続いて第4号議案「新年度収支予算（案）」、第5号議案「役員異動（案）」について説明を頂きいずれの議案も承認されました。新年度は会員数258名の体制で令和を迎えます。

今年度の主な事業としては、8月25日（日）に開催予定の地引き網大会、9月29日（日）のホームカミングデー、ワイン会等々。ホームカミングデーについては、今年は後楽園キャンパス70周年と法学部都心移転を祝う意味もあり、理工学部がある後楽園キャンパスにて開催することが伝えられました。また、ホームカミングデーに開催される恒例の白門駅伝については未定とのことでした。

川俣副会長からは今年度の事業計画は会員相互の親善・親睦を見据えた予算編成を行なった旨の補足があり、併せて大学の国際経営学部等の新設、法学部移転計画等、大学関連の情報が共有されました。



第2部「浮世絵に見る藤沢」

第2部は藤沢浮世絵館 細井 守氏による公演「浮世絵に見る藤沢」。江戸時代に活躍した喜多川歌麿、歌川国芳、国貞、広重の浮世絵の種類（美人画、役者絵、芝居絵、武者絵、名所絵、花鳥画、戯画等々）から見方について、藤沢をゆかりにした浮世絵を中心にポイントや面白さを添えて解説を頂きました。広重の「東海道五拾三次之内 藤沢遊行寺」には江の島と遊行寺が中心に描かれているもさり気なく若い数人の女性が描かれています。また、喜多川歌麿の「風流四季の遊 弥生の江之島詣」には中心に女性が二人描かれています。若い綺麗な女性が

藤沢に在ることを描くことで当時の男性の藤沢への観光を期待する商業的なポスターの役割を担っていたそうです。講師からの説明から浮世絵が当時の重要な宣伝手法であることを理解し納得した次第です。



久野修慈学員会会長のサプライズ登壇  
ご厚志を賜り、誠に有難うございました

第3部は懇親会。川俣副会長司会のもと52名の皆様が参加されました。会長挨拶の途中、中央大学学員会会長として大活躍の久野修慈氏が駆け付け急遽ご挨拶をいただきました。片岡会長とは長年のお付き合いがあるそうです。大学内の一連の問題やご自身の大学運営に対する信念を熱くご説明頂きました。



新入会員の皆様  
これからどうぞよろしくお願いたします

その後は新入会員及び初参加者の紹介。理事に就任した中央大学父母会：神奈川県支部長の細谷氏から白門会と父母会との連携に向けて取り組むべきテーマの具体的な説明がありました。会場内は終始和気藹々の和やかな雰囲気の中で会員間の親善・親睦を深めました。最後は恒例の母校の応援歌を斉唱。小山副会長に閉会の挨拶を頂き滞りなく無事閉会を迎えました。

令和を迎えた藤沢白門会、更なる飛躍に向けて全員で明るく楽しく事業展開を図りたいと思います。

(理事 細谷幸夫)

# 令和2年「新春の集い」 ～盛大に開催される～

令和2年1月26日（日）藤沢市民会館第1展示集会ホールにおいて、中央大学学員会藤沢白門会主催の「新春のつどい」が約100名の参加のもと開催されました。



開場。今年もたくさんの来場を頂きました



片岡会長、酒井大学総長、  
久野学員会会長が次々と  
挨拶に登壇

深澤顧問の乾杯で懇親会が開幕。県下の友好白門会を代表する皆様の紹介に移っていく

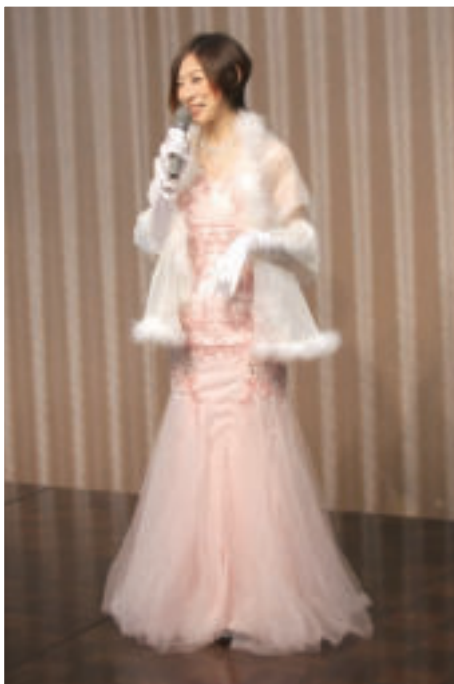


テーブルに並べられた料理の数々に舌鼓





鈴木藤沢市長への車椅子贈呈も無事に終わり、  
一層の懇親を深める片岡会長



今回の目玉、Neco さんによる  
シャンソンコンサート。  
さすがの美声と美貌に会場  
のムードも和やかに



今号の記事は、次期発行の  
25周年記念号に先駆け、文章を  
排し、フルカラー写真の掲載  
点数を増やす試みに挑戦しまし  
ました。来場された方には当時  
の思い出が浮かぶよう、またそ  
うでない方にも会場の雰囲気  
が伝わればと願っております。

(編集部)

## || 第 22 回若手会主催地引き網大会開催 ||

令和元年 8 月 24 日 ( 土 )、若手会主催による地引き網大会が、堀川網で開催されました。第 21 回大会は悪天候で中止になってしまいましたが、今回は天候にも恵まれ、また地引き網も大漁となり、盛況に行われました。



昨年度より若手会を束ねる西尾委員長のスピーチで大会開始！



大人も子供も一緒になって「うんしょ！こらしょ！」  
…あれっ？今日はずいぶんと引き上げるのに時間がかかっているぞ…？

参加者は多少の前後はありますが、毎年百数十名となっており、今回は126名の方々にご参会いただきました。中学生以下の子どもたちも17名参加し、スイカ割りや宝探しゲームなどで楽しんでいました。

地引き網で捕れた魚をその場で焼いて食べたり、お土産に持って帰っていただいたりと、ご参加いただいた皆様方には大変満足していただけたものと思っています。

今年も若手会員が中心となり、地引き網大会を開催しますので、是非多くの方に参加して頂きたいと思っています。

(若手会副委員長 大橋賢也)



今年は大漁！！



みんなで分け合い、お土産にするもよし、そのまま焼いて食べるもよし



スイカ割りなどのゲームも楽しんでいただき、充実の一日となりました！



# 第28回 ホームカミングデー

後楽園キャンパスで初めて開催されました

## 母校・中央大学は我が人生の誇り

2019年9月29日(日)第28回ホームカミングデーが、中央大学後楽園キャンパス及び東京ドームホテルで開催され、初の都心開催に3,000人が参加されました。

午後1時から4時まで後楽園キャンパスで午後5時から東京ドームホテルに場所を移して中央大学の夕べ・卒業後50年学員懇親会・卒業後25年学員懇親会が3会場に分かれて行われました。



今年は都心の立地を最大限に利用し、キャンパス内に留まらない初の試みが催されました

## 後楽園キャンパスでは

中央大学を卒業し、法曹界、学会、経済界、NPO法人、マスコミ界で活躍する皆さんに、母校への思い、期待などを語っていただきました。

座談会に参加頂いた方

甲斐中 辰夫氏 (弁護士・元最高裁判所判事)

宗像 紀夫氏 (弁護士・内閣官房参与・元名古屋高検検事長)

宮内 直孝 (日本製鋼所社長)

瀬谷 ルミ子氏 (日本紛争予防センター理事長)

山田 正氏 (理工学部教授)

司会進行は、島田 敏男氏 (NHK 名古屋放送局長・元NHK解説副委員長)

約1時間30分の座談会が白熱した内容で行われ、あっという間に時間が経過しました。参加された方の熱い母校愛を感じました。

## アスリート紹介

マラソンの堀尾 謙介氏や競泳の塩浦 慎理氏・砂間 敬太氏・大本 里佳氏などが紹介されました。



### 茗荷谷キャンパス予定地・市ヶ谷田町キャンパス見学

マイクロバスで現地見学会が行われました。

茗荷谷キャンパス予定地には、2023年に法学部が文京区の新キャンパスに移転します。付近にお茶の水女子大学、跡見学園女子大学、筑波大学東京キャンパス、筑波大学附属中学校・高等学校があります。

市ヶ谷田町キャンパスには、今年4月国際情報学部が開設されました。

入学定員は150名で第一期生は、全国の高校から入学しました。



市ヶ谷田町キャンパス（左上）／茗荷谷キャンパス予定地（下）



東京ドームホテルでの堂々たる演舞、一同大満足の一日となりました！

## 東京ドームホテル

卒業後 50 年学員懇親会・卒業後 25 年学員懇親会と中央大学の夕べが行われました。中央大学の夕べが行われた「天空」では小池東京都知事が来賓の挨拶をされ約 1000 名が参加されました。

中信支部は、ぶどうの産地直送販売を行いました。

中信支部の小林支部長と場所を移して懇親を深めたりして楽しい時間を過ごしました。

(副会長 吉原和義)



# 令和元年 第23回 SUC 親睦交流会 開催！

第23回 SUC（湘南ユニバーシティークラブ）親睦交流会が、令和元年10月4日（土）17:00より湘南クリスタルホテルで開催されました。今年は青山学院大学が幹事校となり、加盟校17校のうち16校、総勢128名が参加しました。

第一部式典は、幹事校青山学院大学湘南支部・高木隆夫支部長の挨拶に始まり、鈴木藤沢市長と続きました。



中央大学藤沢白門会の代表として、SUC親睦交流会の挨拶に登壇する杉山副会長

記念講演は、岩井千尋・青山学院大学社会情報学部元教授による「楽しい、よそ見人生、～銀行員・大学教授・そしてジャズミュージシャン」と題しまして、約45分間講演されました。

講演内容は、中学時代にテニス部に入部したが、運動部を辞め、吹奏楽部に入部。コントラバス、チューバなどを経た後に、トランペットを吹くことになりました。ジャズが好きで聞いているうちにトランペットの演奏部分に魅かれていったことがキッカケ。

高校時代は、選抜甲子園の野球部応援でプラスバンドの指揮を執りました。この時、母校（県立土佐高校）は選抜準優勝。

神戸大学入学後、軽音楽部にてジャズコンボを始め、4年時には「大学対抗バンド合戦」の全国大会に出場。

大学卒業後は、母の勧めもあり、信託銀行に入行。平凡なサラリーマンをしていましたが、一方で横浜コンボ連盟に所属し、氷川丸船上コンサート、アラスカ州の州祭りで演奏していました。

また、銀座シグナス、YAMAHA、サイレントプラス等でコンサートを続けていました。ジャズ・アドリブコンテストでは全国2位になりました。

社会人でありながら、青山学院大学研究科修了、上智大学経済学研究科修了（博士号取得）。信託銀行退職後、近畿大学経済学部教授に就任。後、青山学院大学教授、同大学院教授にも就任。青山学院

大学退職後は、仲間5人と結成してバンド活動を続けてきたバンド名「Le Chic Jazz Quintett」で、念願の専任ミュージシャンとして本格的に活動を始め、現在に至っております(現在まで300回近くのコンサートを開催)。

文字通り「よそ見人生」を楽しんで来られ、またこれからもさらに楽しい人生を演出して行かれるような、そんな気がします。

第二部の親睦懇親会は、昨年度幹事校の日本大学校友会・湘南楼門会・佐々木透会長の挨拶と乾杯のご発声で幕を開けました。同じ地域に同窓会を持つ大学が一堂に会して行う親睦交流会は全国的にも非常に珍しい。

湘南という風土がその後押しの要因になっているのではと思います。

各大学から代表者による自校紹介があり、各大学の活動状況・様子などを伝えて頂きました。また箱根駅伝への思い・期待等々を熱く語る会員もおり、各々母校への強い思いを感じることが出来ました。

今年度のアトラクションはジャズライブ。講師 岩井千尋氏を中心としたバンド「Le Chic Jazz Quintett」の演奏でライブがスタート。ジャズミュージックをBGMに、美味しい食事に舌鼓を打ち、楽しいお酒で喉を癒しながら、各々人が宴を楽しんでおりました。各テーブルでは初めてお会いした参加者との名刺交換、またお互いに再会を懐かしむ風景など会場は賑わいながらも和やかな雰囲気にも包まれていました。

最後に、来年度の開催幹事校となります工学院大学校友会・湘南支部 藤田直人支部長からの来年講師予定の方の紹介と協力をお願い、そして青山学院大学校友会・湘南支部 西山顧問の来年の再会を期した挨拶を閉会の辞とし、幕を閉じました。各々人が和気藹々の中、再会の約束をしながらほろ酔い気分では会場を後にし、各校各人の二次会へと散会しました。

笑い声が絶えない会場を後にしましたが、この藤沢の街、諸先輩方は何処に行かれたのでしょうか！

(副会長 杉山 洋)



# 第 19 回神奈川県下合同白門会開催

## 神奈川ブロック旗のもとに

### ～藤沢当番による第 19 回神奈川県合同白門会盛大に開催～

2019年11月2日（土）、藤沢白門会が当番幹事となり、第19回神奈川県合同白門会を「藤沢市民会館第一展示集会ホール」にて開催しました。2019年4月に学会会から寄贈を受けた「神奈川ブロック旗」を掲げての初会合となりました。

第一部は「中央大学学術講演会」として、経済学部教授の松丸和夫先生に「働き方改革と社会保障」と題した講演をいただきました。政府が推進する働き方改革により、労働時間短縮をはじめ年休取得促進など、労働者の生活に大きな変革がもたらされる中、持続可能な社会の実現に向けて社会保障の担う役割がますます重要になってきており、高齢者のみならず子育て世代にも焦点を当てた全世代型社会保障の確立には、その財源となる税金や社会保険といった安定した資金が必要であり、これを生み出す労働力の確保が働き方改革の大きな柱の一つとなっているとのご指摘をいただきました。

この講演会は無料で、誰もが気軽に聴講できる形式として実施したことにより、関係者約70名をはじめ、一般参加者も10名参加し、その中の一人からは「無料で関心事について聞くことができ、たいへん有意義な時間だった」との感想をいただきました。



学術講演会の模様



講演に聞き入る聴衆

続いて第二部の懇親会に移りました。まず冒頭に「講談」を上演しましたが、これには、7月に開催された神奈川県合同白門会開催に向けた県内白門会の連絡協議会の席上、中央大学出身講談師の田辺凌鶴氏を招いて「講談」を上演したらどうかとの提案があり、出席者の賛同を得て実現したという経緯があります。

演目は田辺凌鶴氏創作の「金栗四三」で、NHKの大河ドラマでも放送中の、まさにオリンピックイヤーを迎えるに相応しい内容でした。出席者のほとんどが「講談」初心者でしたが、時には

軽妙な冗談で笑いを取り、時には畳みかけるようなテンポで息をつかせず、変幻自在な田辺凌鶴氏の話術に皆が魅了され、講演の面白さに心酔したひと時でした。

講談終了後、お待ちかねの懇親会の開会です。まず始めに主催者を代表して片岡会長から、ご参集いただいた出席者にむけ、歓迎と謝意を伝えるとともに、各白門会が等しく抱える会員減少という課題について、危機感をもって取り組む決意が述べられました。

続いて中央大学間島常任理事から首都圏への学部移転などの大学の近況、学会会山本副会長からは地域支部の現状報告、藤沢市鈴木市長からは2020オリンピックセーリング競技の会場となる藤沢市の準備状況などについてご挨拶をいただきました。

続いて、前年の幹事を務めた横浜白門会の小田原支部長に乾杯のご発声をいただき、歓談に入りました。

歓談中には、来賓の皆様のご紹介をはじめ、姉妹支部提携を結んでいる長野中信支部の小林支部長からは、台風19号で被災した長野市でのボランティア活動の状況、神奈川県父母連絡会の近藤副支部長からは就職説明会の取り組み状況、平塚白門会からは駅伝応援の話題、山本副会長からは学会会のレガッタ大会企画について、それぞれお話をいただきました。

盛況のうちに終了時間が近づき、恒例となっている校歌斉唱に続く本会顧問の鉢嶺さんのエール、続いて惜別の歌を全員輪になり肩を組んで合唱し、交流を深めました。

最後に次回当番幹事となる茅ヶ崎白門会の藁品会長から、2020年の神奈川県合同白門会に向けた抱負が語られ、これをもって閉会となりました。

(事務局長 川俣 誠)



片岡会長挨拶



間島常任理事挨拶



山本副会長挨拶



全員で肩を組み「惜別の歌」合唱



次回幹事茅ヶ崎白門会藁品会長締めの挨拶

## 第4回白門駅伝大会参加について

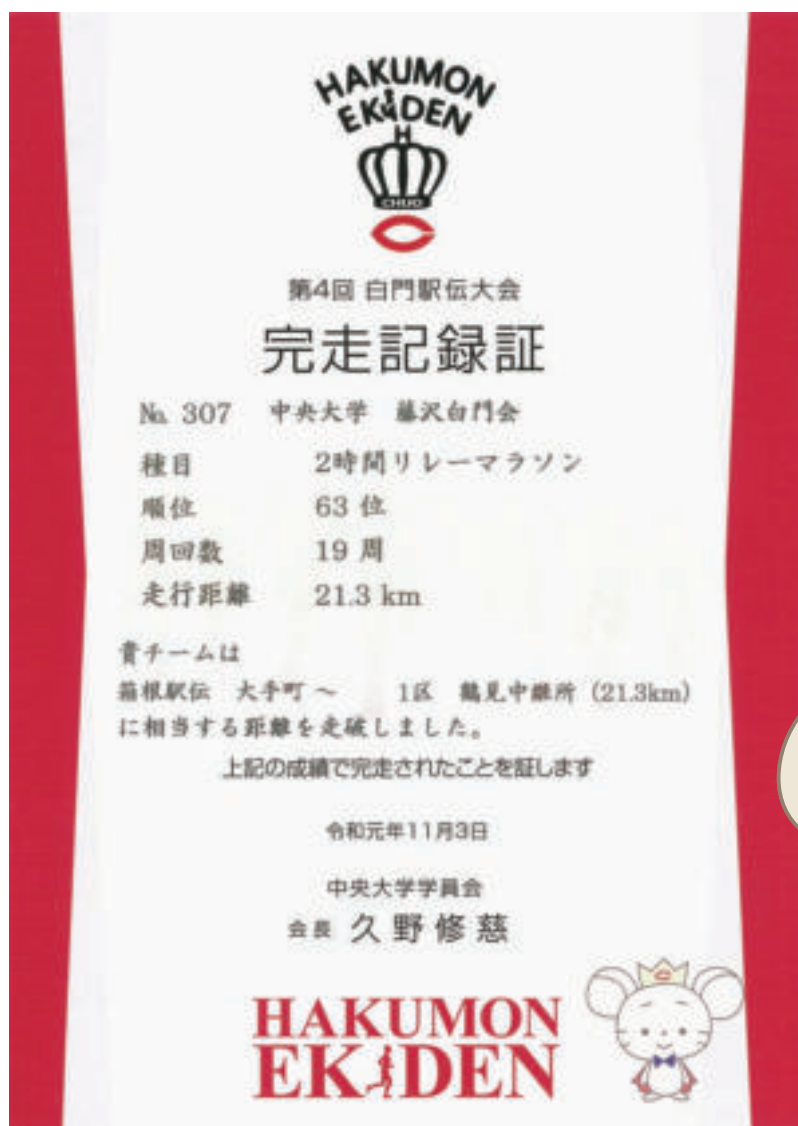
11月3日(日)第4回白門駅伝が開催され、当藤沢白門会もエントリーしました。今年は最初9名でしたが、1週間前に怪我及び風邪の為、2名キャンセルとなりました。昨年は10月8日で当日真夏を思わせる気候で日中の気温が32度だったと聞いており、記録も5名で参加84チーム中、42位で21周(走行距離23.5km)でした。

今年は26歳の端山さん、50代の川崎さん、高橋さん、早川さん、60代の遠藤さん、北口さんと70代の小生で(平均年齢57.5歳)で7名で走り、当日曇り空の気温19度でまずまずのコンディションで、11時15分に2時間マラソンリレー(1周1.1キロ)がスタートし、川崎さんから遠藤さん、高橋さん、端山さん、早川さん、北口さん、最後に小生が走り、川崎さんが3周、遠藤さんが3周、高橋さんが3周、一番若い端山さんが4周(若さと走力は他の人と全然違う)を頑張り、早川さんが2周、北口さんが2周、小生が2周で合計19周(走行距離21.3km)でした。今年は80チーム中、63位で昨年より大幅にダウンしました。

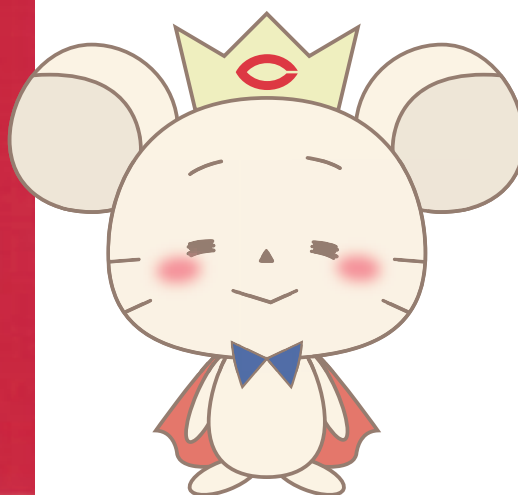
上位チームは現役の学生で、陸上同好会等が含まれていました。

小生は、体力、気力、走力も劣り、来年も出場出来るか自信がありません。来年は若手の参加者も希望しております。又、藤沢白門会をアピールしようではありませんか？

(箱根駅伝を応援する会 城崎芳彦)



完走後、チュー王子と記念撮影  
お疲れさまでした！





## || 第96回箱根駅伝予選会について ||

第96回箱根駅伝予選会が10月26日（土）に立川国立記念公園で46校参加して行われた。

我が母校中央大学は藤原監督の予想では、一万メートルの記録では29分台が10名程いるので、3位くらいには入れるだろうとの予想でした。

9時30分に立川自衛隊基地をスタート。各校12名参加してハーフマラソンの21.095メートルを上位10名の合計で来年の箱根駅伝の出場校が決まります。

前半10キロは全体では7位で15キロでは9位で通過しました。

予選1位は東京国際大で総監督横溝さん、監督の大志田さんも中央大のOBで、5位に入った創価大の榎田監督も中央大のOBです。

今回、話題になったのは、6位に入ったいだてん（金栗四三氏）母校の筑波大が26年ぶりに戻ってきた事が話題になっております。

中央大は森選手（2年）が15位、畝選手（3年）が25位、三浦選手（2年）35位、1時間4分台、4～10位まで1時間6分台で9位の主将の船津選手（4年）は全体で188位でした。

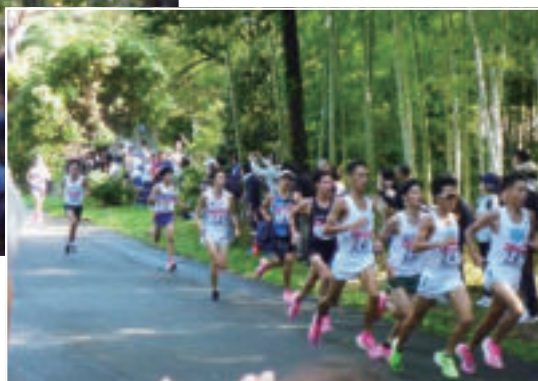
予選会が終わって結果発表が11時過ぎに始まり、第1位東京国際大、2位神奈川大、3位日体大、4位明治大、5位創価大、6位筑波大、7位日本大、8位国土館大、9位早稲田大と読み上げられ、いったん間をおいて10位中央大と呼ばれました。一瞬、6月の全日本大学駅伝関東地区予選会で、5位の中央学院大との差が16秒で出場を逃し、今回も同様の思いがしました。11位の麗沢大との差は26秒で、中央大OB、家族等安堵の声が上がりました。

本選まで後2か月となり、選手の底上げがどれだけ出来るかは、藤原監督の手案に掛かって来るかと思えます。

選手も来年は絶対、シード権を取るぞとの意気込みで体調を整えて本番に向かって練習に励んで下さい。



（箱根駅伝を応援する会 城崎芳彦）



予選会から沿道の応援も白熱する箱根駅伝  
来年ブレイクする顔は写っているでしょうか？

# 第 96 回箱根駅伝について

## 今年もシード権獲得ならず

令和の初日の出は見られなかったが、当日晴天に恵まれて（往路）21校（シード10校、予選会勝ち上がり10校、関東選抜1校）で朝8時に大手町読売新聞社前を一齐にスタートし、我が母校中大は1年生千守倫央選手（松山商）も前半は他の学校の選手についていきましたが、品川駅を過ぎた辺りから遅れ始め、2区の鶴見中継所では16位で川崎新太郎選手（3年水口東）にタスキを渡しましたが、彼も振るわず18位に落ち、3区の戸塚中継所で三浦拓郎選手（2年西脇工業）に託しましたが、16位（区間12位）で4区の平塚中継所の池田勘太選手（3年玉野光南）は15位（区間11位）と位を一つ上げ、5区の上野原に畝拓夢選手（3年倉敷）を起用し、芦ノ湖のゴールでは13位（区間9位）でした。初日1区、2区の出遅れが響いたと思いますが、タスキを無事に渡し、翌日に期待しております。



今年の往路の応援には、大和白門会の皆様にもお越しいただきました

2日目、6区山下りは1年生若林陽大選手（倉敷）には個人的に大いに期待しておりましたが、13位（区間10位）でした。7区の森風也選手（2年福岡大大濠）は前日風邪をひいており、順位を上げる予定でしたが、13位（区間12位）で、8区は我が地元藤沢を通過する為、浜見山交差点前、藤沢小学校前、遊行寺坂上で大きな声援をしましたが矢野郁人選手（3年須磨学園）は一つ順位を下げ、14位（区間16位）で9区戸塚中継所では大森太楽選手（3年鳥取城北）は一つ順位を上げ13位（区間10位）で最終区の10区では地元藤沢出身の二井康介選手（4年藤沢翔陵）で12位（区間6位）まで押し上げましたが、残念ながら、今年もシード権を勝ち取ることが出来ませんでした。

往路 13 位、復路 12 位、総合 12 位で終わり、藤原監督曰く、7 区、8 区の選手がもうちょっと頑張ればシード権は取れたはずだと言っていました。

今年は、下馬評では充実した 4 年生がいる東海大が本命でしたが、それ以上に青山学院大の選手の活躍で、昨年東海大が打ち立てた大会記録を 6 分 46 秒上回る超高速記録で覇権奪回しました。

この 4 月には全国高校駅伝で優勝した仙台育英の吉居選手を始め、高校駅伝に出定した選手が 6 名入学しますので、2～3 年後には優勝出来るチームになると思います。

(箱根駅伝を応援する会  
城崎芳彦)



復路で奮闘する矢野郁人選手と藤沢白門会  
応援の光景。だがしかし結果は振るわず、  
次回も予選から…



片岡会長と城崎副会長の敗戦の弁、  
この無念を糧に来年もしっかり応援していきましょう！

## || 新入会員歓迎 BBQ 大会開催 ||

令和元年6月22日(土)、若手会主催による新入会員歓迎BBQ大会が、片岡会長宅で開催されました。新入会員6名を含む21名と子ども2名が参加し、盛況に行われました。

まず、若手会の雄志が11時に片岡会長宅に集合し、食材やお酒等を買出しに行きました。その頃からちらほら雨が降り始め、開始時刻の13時頃も雨が降っていたので、会長宅内でスタートしました。

西尾若手会会長のあいさつの後、片岡会長の乾杯の発声でBBQ大会が開会しました。

その後、徐々に天気が回復してきたので、途中から片岡会長宅の大きな庭に出てみんなでBBQを楽しみました。

今年も若手会員の親睦を広げるために、BBQ大会を開催しますので、是非ご参加ください。

(若手会副委員長 大橋賢也)



西尾若手会会長・大橋副会長・川崎事務局次長、こんな陽の高い間からこの出来上がってる顔！

(でも皆さん自分で楽しくやっているのでアルコールハラスメントなどは全く無いのが藤沢白門会の鋼の掟なのです)



会場を提供して下さった片岡会長に感謝の一枚

# 第 12 回若手懇親ボウリング大会 & 懇親会開催



開会の御挨拶。今年は誰が頂点に立つか！？

令和2年1月11日（土）、若手会主催によるボウリング大会&懇親会が、江の島ボウリングセンターで開催されました。日頃からボウリングに親しんでいる人や、十数年ぶりにボウルに触る人など、合計14名が参加し、盛況に行われました。

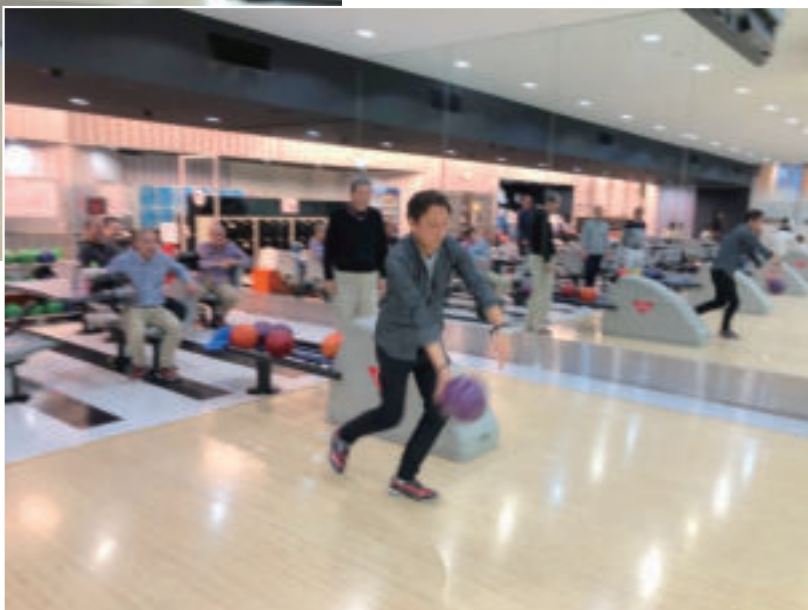
西尾雄一郎若手会会長の開会あいさつに引き続き、各チーム3人ずつに分かれ、4レーンを使ってのゲームが午後2時半過ぎにスタートしました。

ルールは、各自3ゲームを行い、そのうちスコアの高い2ゲームの点数を合計して順位を決めるというものです。ストライクを出したり、スペアを取ると、そこかしこから歓声が上がリ、ハイタッチが飛び交っていました。

和気あいあいとした雰囲気の中、あっという間に3ゲームが終了し、順位を気にしつつ、同センター内にある懇親会会場に皆で移動しました。



気合一閃！ディフェンディングチャンピオン、片岡会長の剛球がピンをなぎ倒す！



負けじと西尾若手会委員長も力の入った投球！



思い思いのグラスを手にして…「かんぱ〜い」

懇親会は、西尾若手会会長の挨拶、片岡会長の乾杯でスタートしました。大皿に盛られた食べきれないほどの料理と、飲み放題のアルコールも進み、舌もなめらかに歓談も盛り上がりました。

懇親会が開始して30分程度した頃、集計が終わり、皆が気になっていた順位の発表が行われました。3位高橋先輩、2位川崎先輩、栄えある優勝は本間先輩でした。本間先輩は、優勝とハイスコア賞のダブルタイトルを獲得されました。

順位に応じた賞品の他、全員に参加賞が渡され、皆が楽しい気分でボウリングセンターを後にしました。

来年も若手会員の親睦を広げるために、ボウリング大会を開催しますので、「ボウリングやったことない」とか、「玉が重くて指が痛くなりそう」などと尻込みしている方にも是非参加して頂きたいと思っています。



本間先輩おめでとうございます！

(若手会副委員長 大橋賢也)



紅一点の鉢蟻夫人も賞品を受け取る活躍でした（大橋弁護士…これ載せてよかったんですか？）

# 長野県中信支部を訪問

～総会に出席して～

6月2日(日)朝、午後3時から開催される長野県中信支部総会に出席するため、片岡会長とともに松本に向かいました。総会に先立ち開催された学術講演会では、中央大学文学部教授 天田城介氏の「超高齢化・人口減少社会における地方の現実」～「地方再生」時代における新たな地域社会のありかた～という演題で講演が行われ、会員はもとより、非常に多くの一般市民が講義に聞き入っていました。この講演会は、松本市をはじめ近隣市町の関係部署の職員も数十名聴講しており、地方都市が抱える課題の深さと演題選択の的確さ、とともに聴講者の勤勉さに感心しました。

中信支部では総会の度毎に学術講演会を開催し、多数の聴講者を集めています。これは教育県たる住民性もあるとは思いますが、小林支部長をはじめ支部会員の方ならぬ広報・勧誘活動が結実したものであると敬意を表します。

年次総会には大学から大村雅彦大学理事長、学会からは石塚康夫副会長・渡辺紀久子副会長が臨席し、事業計画や役員改選などの議事の審議が行われました。特筆すべきは、支部創立70周年事業に向けた中長期ビジョンの策定、社会貢献活動としてChuo Vision 2025への対応、9月25日開催のホームカミングデーへの支部参加、地域の高校生やその家族に向けた中大ブランド・魅力発信事業等の主要活動事業が発表されたことで、地域支部のあり方として非常に参考になりました。そして、Chuo Vision 2025へ支部対応として総会での承認の直後、総会の結びに際して、小林支部長から大村理事長に50万円の寄付金目録が贈呈されました。金額も多額で、さらに次年度までに100万円を目標に会員による募金事業も行うということで、中信支部の方々の信念とパワーに敬服いたしました。

懇親会では、中信支部幹部の方々と来賓の方々と情報交換を行い、有意義な時間を過ごすことが出来ました。



中信支部総会において  
片岡会長の挨拶



翌日は小林支部長自らが愛車ベンツで迎えに来ていただき、名古屋支部の支部長（当時）でもある渡辺紀久子学会副会長と共に名所をご案内いただきました。

見学の皮切りに、一昨年の中信支部創立 65 周年のコンサートに出演し、素晴らしい演奏を聞かせてくれた松本蟻ヶ崎高等学校脇を通過して、旧開智學校を訪れ、門の前で記念写真を 1 枚。（旧開智學校校舎は、約 4 か月後の令和元年 9 月 30 日に正式に国宝に指定されました。）



撮影後、近代学校建築として始めて国宝に指定される旧開智學校



小林中信支部長によるアルプス公園の展望の説明

引き続き、松本の市街地を見ながらアルプス公園に向かいました。

広大なアルプス公園の展望広場、さらには松本青少年の家近くのアルプス展望解説板が設置されている眺望ポイントで、小林支部長の丁寧な説明を伺いながら、安曇野から北アルプスまでが一望出来る大パノラマ風景を見せていただきました。





世界遺産の拾ヶ堰と常念岳を背にして

次には世界遺産である安曇野の拾ヶ堰を見学に行き、自転車広場付近から、常念岳を背景にまた1枚。

お腹がすいたところで、道の駅 アルプス安曇野ほりがねの里に立ち寄り、名産直売品の買い物、地産品とお蕎麦を組み合わせた料理をおいしくいただき、帰路につきました。

今回の総会に出席させていただき、同窓会の地域組織としての活動の在り方について勉強させていただき、また、小林支部長をはじめ会員の方々に大変のお心遣いをいただいたことに感謝いたします。

最後に、中信支部の益々の繁栄と今後も当支部との交流を継続していただくことを祈念して、報告とさせていただきます。

(副会長 遠藤主計)



## || 社会福祉活動委員会 ||

社会福祉活動の一つとして、2019年8月25日（日）社会福祉法人光友会のふくし村まつりに参加しました。当日は、獺郷、宮原など地元の方々の太鼓や神奈川県立茅ヶ崎高等学校吹奏楽部 & OB会の演奏など、多くの人との交流が行われました。

2020年1月26日（日）に行われた新春のつどいでは、鈴木恒夫藤沢市長に、車椅子2台を贈呈しました。車椅子については、藤沢白門会の総会、新春のつどいをはじめとして、様々な行事の際に車椅子募金にご協力をいただき、毎年藤沢市に寄贈しているものです。今後も地域貢献の一環として続けていきたい活動です。

さて、男女共同参画社会や障がいのあるなしに関わらず、共に生きることを目指した共生社会に向けての様々な取組がなされています。少子高齢化社会や異文化交流などと相まって、これからの社会は、今までよりも人と人とのふれあいが大切になってくるものと思います。お互いの立場、考え方、生活習慣など相手のことを思いやる気持ちが必要になることでしょう。バリアフリー化も進み、駅や交通機関の表示も2、3カ国語で表示されています。ハード面の整備も盛んに行われていますが、やはり大事なことは優しさや思いやりの気持ちをもって接するというソフト面だと思っています。

今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。藤沢市でも、セーリング競技が行われます。4年に1回のスポーツの祭典で、世界最高のレベルの競技を見ることができます。オリンピックは勿論ですが、パラリンピックの選手達も健常者でもまねできないようなハードなトレーニングを積み重ね記録に挑んでいます。その姿に人々は感動するのだと思います。障がいのあるなしに関わらず、多くの人に感動を与えてくれる選手の姿を見ながら、共生社会について思いを巡らせてみるのもいいかもしれません。

（社会福祉活動委員長 端山幸雄）



社会福祉法人光友会  
「ふくし村まつり」にて

「新春のつどい」での車椅子贈呈

---

---

# サークル同好会活動

---

---



# 《囲碁サークル》

## これからも囲碁を楽しく

藤沢白門会が平成7年12月に発足し、実質的な会として活動が始まった平成8年から出来た「囲碁サークル」も、この会報24号と同じ24年を数えることになりました。

当初の13名から、現在はお承知の通り4名となり、時々川崎支部の奥川さんが遊びに来られますが、つくづく時の流れを感じるこの頃です。

以前にも言いましたが、川柳に『碁敵は憎さも憎し、懐かしい』とある様に、旧産業会館6階の会場はレストランの一角にあった為昼食は勿論の事、対局終了後はコーヒーで、ある時は近所の居酒屋で雑談するのも楽しく、同好の士の集まりに囲碁を覚えていた事で人の絆が強く広がり、第二の人生の大事な要因となっているのだなあと痛感しています。

年号も「令和」となった昨年10月13日の朝日新聞によると、日本の囲碁人口が低迷しているそうで、レジャー白書によると、かつて1千万人を超えていた碁打ちは、今は2百万人そこそこと云うことです。

これは私見ですが、昨今のスマホやらテレビゲーム等一人で遊ぶ若者たちが増えているのも一因と思います。



明治大学との囲碁交流会「烏鷺会」での対局



切っ掛けは「ヒカルの碁」  
異色の経歴を持つ最強名人！？

それに比べ、ご承知の通り新星藤井聡太七段の出現活躍により、青少年を含め将棋人口は増えていると云われています。

然しながら、囲碁界にも若手プロの台頭が著しく、神奈川県相模原市出身で平成 11 年生まれの芝野虎丸棋士は、囲碁漫画『ヒカルの碁』に触発されて囲碁を始め 15 歳でプロ入りし、僅か 4 年後には飛び級で七段、更にその 2 年後の昨年 10 月には、史上最年少となる 19 歳の若さで名人位を獲得する快挙を成し遂げました。

更に女性でも、史上最年少の女流プロ棋士となった 10 歳の中邑董初段の出現等目覚ましい活躍があります。

中邑董初段は、第 76 期本因坊戦の予選に臨み令和元年 10 月、56 歳の男性七段に勝利し、その前月に十段戦予選で男性四段に勝利して以来、男性棋士との対戦で堂々の 4 連勝を挙げています。

囲碁好きの一人として可愛い「すみれちゃん」の活躍は嬉しい限りです。



囲碁界の天使となるか？  
「すみれちゃん」



明治大学「烏鷺会」との最後の記念写真。  
前列左から長谷川勇、杉森淳、右端が長谷川政彦

又、我が囲碁サークルは数年来明治大学 OB による囲碁サークル「烏鷺会」と交流を続けており、最近は隔月毎に先方碁会所を訪れ交流対局を行ってきました。

然しながら、当方からの訪問者が減少してしまったこともあり、長らくのお付き合いに感謝しつつ昨年末を以って訪問を打ち切りました。

今後は別の形での交流を模索したいと考えています。

人数は少なくなりましたが、これからも、ボケ防止の為にグループ四人で楽しく打っていく積りです。

(囲碁サークル幹事 中谷哲夫)

## 《音楽鑑賞サークル》

本年度より、これまで音楽鑑賞サークル幹事をされておりました座間様より幹事を引継ぐことになりました高橋です。改めて宜しくお願いします。

私事ですが、学生の頃中央大学混声合唱団に2年在籍し、活動をしておりました。その在籍中でのエピソードですが、当時のマエストロである山口貴先生が、人間の声というのは昔からリスペクトされ、その声に魅せられた音楽関係者が、楽器というものを創り上げたとのことでした。なるほど確かに人の声は世界にひとつしかない楽器なのだと当時の私は思いました。2年間の活動では、ベートーベンの第九、ドボルザークのレクイエム、ヘンデルのメサイアを経験しました。そこで合唱団員の声と吹奏楽器との醸し出す音に感動を覚えたことを今でも覚えています。そこで、今年はオーケストラの演奏だけでなく、ミサ曲の合唱も取り入れたいと思い活動を始めました。活動は年5回を目標とし、インターネットで調べました。5月では合唱のコンサート予定が、なかなか見つからず、初回ということもあって、“ユース・ウィンド・オーケストラ結成40周年記念演奏会”に決めました。この団体は、昭和54年から音楽活動を続けること40年、吹奏楽コンクールでは11年連続神奈川県代表になる実力のある楽団でした。曲の内容は、バンドのための祝典序曲やサクソフォンと吹奏楽のための「フリッソン」、最後にトゥーランドットより「だれも寝てはならぬ」と吹奏楽らしい楽曲でした。



第2回 (8/17)

ミューザ川崎シンフォニーホールにて

8月は、“夏祭りクラシックス2019”の曲目で、2011年に前身の横浜開港祭ザ・ブラスクルーズが織りなす合唱で、三大レクイエムの一つであるヴェルディ・レクイエムでした。この調べは、人の死に対する恐怖や神へのお願いをする気持ちを、これほどまでにリアルに表現したものはないと言われています。そのヴェルディの曲の思いが、時を超えて私達にも伝わり、とても感動を覚えました。

10月は、“モーツァルト+（プラス）”の曲目で、ハイドン・シリーズを基に、モーツァルトを組み合わせた楽曲でした。オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、ダブルベースのユニットの演奏は初めてのことでしたが、実際演奏が始まると、オーケストラにも見劣りしない迫力と時折響き渡る優しい音色が印象的でした。



第3回 (10/26)

神奈川県立音楽堂にて

12月は、中大管弦楽団第82回定期演奏会で、P.I. チャイコフスキーでした。

楽団の歴史は60年を超えてなお充実し続けており、いずれ来る第100回を視野に入れた活動として、昨年の12月からG. マラーやドボルザークの難曲に挑戦しています。

今回の演奏は、“白鳥の湖”の抜粋、序曲“1812年”や交響曲第4番へ短調です。この曲が作曲された時期は、露土戦争が勃発した年で、その心情の変化がこの曲に組込まれ、その喜怒哀楽を感じることができた演奏会でした。



#### 第4回（12/20）横浜みなとみらい大ホールにて

2月は昨年に引き続き、16日に湘南フィルハーモニー管弦楽団 第40回コンサートです。この楽団の歴史は、1977年、茅ヶ崎高校に着任した教師6人によってCAG（Chigasaki Amateur Group）として発足した楽団が、現在も月2回の練習と年1回の演奏会ならば参加できるという音楽愛好家の集団として、湘南の地に根付いた音楽活動を続けている楽団です。2008年には湘南フィルハーモニー管弦楽団（Shonan Philharmonic Orchestra）へと発展していき、2管編成の管弦楽団として、ロマン派の曲を中心に演奏曲目の幅も広がり、＜地元市民に演奏参加への道を開く＞ということもCAGの主な活動の一つで、「主婦のためのヴァイオリン教室」「主夫のためのチェロ教室」を経て、演奏の喜びを知った団員も多く、市民参加の活動を続けています。

2019年度の活動は目標の5回は達成したものの、私の勉強不足もあり長年お付き合いをしてきた“スウィング・クリスタル・オーケストラ”との交流がかないませんでした。来年度は是非組入れたいと考えています。

（音楽鑑賞サークル幹事 高橋 茂）

# 《白門サロン会》

第58回サロン会は、平成31年2月17日（日）にイタリアンレストラン「ポルトヴィーノ」にて開催され、会員18名が参加しました。



宴もたけなわにして、千葉景子顧問・服部治相談役からの挨拶





美味しい料理とお酒で一同  
の会話も弾む

また、第59回サロン会は、令和元年9月16日（日）に新しく建て替えられた藤沢市労働会館6階にオープンした「3+3CAFE」にて開かれ、会員14名が参加しました。同店のテラスからは江の島がくっきりと見え、相模湾の景観を眺めながらの会食となりました。



オーシャンビューの眺望と共に…乾杯！！

澤田副会長、満面の笑顔で自然とピースサインも飛び出す一コマ



食事はそれぞれ店の得意の料理が提供され、飲み物に合わせてたっぷり味わい、いつも同様楽しいひと時を過ごすことが出来ました。



白門サロン会は現在約40名が会員で構成されています。食べること、飲むこと、そしてしゃべることが大好きな方の入会をお待ちしております。

(白門サロン会幹事 林 孝靖)



神妙な表情の遠藤副会長…  
よもや鶏肉が混入?!



ビールも旨いが、店の配慮で特別提供された乾杯用スパークリングワインも格別美味しかったナー!

## 《緑と歴史散歩サークル》

2019年度の緑と歴史散歩サークルは、いつもの趣向を変え、2023年に法学部の移転が予定されている茗荷谷駅前のキャンパス予定地を始め、後楽園の理工学部キャンパス、国際情報学部の市ヶ谷田町キャンパスなどを巡る都心キャンパスツアーを開催した。

### 「都心キャンパスツアー」

2019年7月13日(土)の晴天に恵まれた日の午前10時半、地下鉄丸の内線茗荷谷駅前に、藤沢のメンバーに加え、横浜、川崎、大和、相模原の各白門会からの参加者18名が集合した。ガイドは、藤沢屈指の情報通、白門愛あふれる吉原和義さん。我が歴史散歩サークルでは初めての東京散策となる。

中央大学では、「Chuo Vision 2025」により、世界に存在感のある大学を目指し、学部の新設やキャンパスの再編と整備を進めている。既に、2019年4月には「国際経営学部」と「国際情報学部」を開設し、グローバル化を加速させている。計画の一環として、法学部の都心移転が2023年に予定され、今回のツアーでは、その新キャンパス予定地を中心に散策を行った。

茗荷谷駅前の東京キャンパスは駅前という駅からは至近距離にあり、いまは一面更地になっている。周りには、跡見学園大学やお茶の水女子大学のキャンパス、筑波大学キャンパス、拓殖大学キャンパスがあり、閑静な街並みの中に学問の府があるという感じで、法学部のキャンパスとしては誠に相応しい。



今回は切り拓かれる未来史の舞台を散歩しました。そしてガイドは藤沢白門会が誇る「中央大学の生き字引」こと吉原副会長（写真一番左手前）

まずキャンパス予定地を見る。いまのところ周囲はばら線で囲われており、特に見るべきものはない。敷地は7,255㎡と広い。しかしもう少し用地が欲しいという印象は残る。将来的には跡見学園から譲り受けるなどは考えられるが。

予定地をバックに吉原さんから説明を受け、その後、ゆっくりとお茶の水女子大学周辺を散策した。お茶の水女子大学は高木が茂ってうっそうとしており、静かなたたずまいと歴史を感じさせられる。お茶の水の駿河台では、敷地の狭かった我が大学時代を思い起こし、羨ましくも感じた。隣にある跡見学園など敷地周囲をゆっくり散策し、教育の森筑波大学東京キャンパスを見て文京区のスポーツセンターで休憩を取った。その後、春日通りを下り富坂の理工学部キャンパスへ向かう。理工学部キャンパスは文京区春日1丁目にあり、東京ドームや小石川後楽園、文京区役所と隣接している。事務担当の方から3号館14階にある教授部屋を案内してもらい、周辺の眺望を楽しみながら学部の将来構想を伺った。1階には食堂があり、ちょうど昼時であったので、学生や付属の高校生でほぼ満席状態であった。

そして、地下鉄に乗り、市ヶ谷の田町キャンパスに向かう。田町キャンパスは4月に開設された国際情報学部が入るキャンパスで、国際的な人材育成を行うことが目的の学部。市ヶ谷駅近くの15階建てのビルで電車からも一目でわかる。セキュリティーのため学内へは入ることができず、1階のロビーで休憩を兼ねてゆっくりする。ここまで約3時間。

これで、キャンパスツアーは予定を終了。参加者の皆さん大分歩いたのでお疲れの模様。ぐったりしているのを、気を取り直して遅い昼を兼ねた懇親会のため電車で水道橋に向かう。会場のテング酒場は水道橋駅西口すぐのところであり、昼間のため貸し切り状態で宴はスタート。藤沢のみでなく県下からも参加されているので、まず自己紹介からスタート。飲み放題付き2,500円の会費の割には料理も良く、お酒も十分にいただき疲れを癒すことができた。そしてあっという間に時は流れ約束の16時過ぎになり、次回以降の再会を期してお開きとなった。

歴史散歩サークルはこれまでほぼ県内を中心に散策していたが、これからは都内など江戸の史跡や風物、あるいは味を巡る散策をしても良いかなと感じた今回のツアーだった。

(緑と歴史散歩サークル幹事 澤田英樹)



## 《ワインサークル》

想像してみてください。

ピザの美味しいレストラン。

注文したピザが窯で焼かれている頃、テーブルにはピクルスやフォカッチャ、特製サラミに生ハム、お洒落なカナッペが所狭しと並べられています。



今回の会場「ピッツェリア・チェッポ」を  
ご紹介いただいた西尾さん

レストランなど、照明を落としていたりする場では、外観から知り得る情報は少なくなります。

冒頭で書かせて頂いたグラスの中身は、泡がのぼっているのでスパークリングである事は確か。

色は、赤でもロゼでもない。レストランの照明で分かるのはそのくらい。

スパークリングワイン……一口にそう言っても、実に色々なものがあります。

私は若い頃、スパークリングワインは何でもかんでもシャンパンと呼んで良いなんて勘違いをしていた時もありました。

そして目の前のグラスには、きめ細やかな泡が立ちのぼる透明な液体。

ラベルをはがされたボトルからそそがれた、このグラスの中身は何でしょう？

これは昨年10月に開かれたワイン会での一幕です。

持ち込み可のレストランでしたので、好きなワインを持ち寄り、集まった皆でそれらを飲みながら楽しい時間を過ごしました。

ワインのブラインドテイスティング（商品名を見せない状態でワインの産地や銘柄を当てるテイスティングのこと）の際、①外観、②香り、③口に含んだ際 of 感覚、で考えていくのが、一般的です。



女性会員随一のワイン通でも  
名を馳せている相原さん



お店の入り口からは見えない最奥の部屋で、秘密のワイン品評会。思わず顔もほころびます

だって、子供の頃、クリスマスの定番だった『シャンメリー』というあの炭酸飲料。あれはシャンパンの「シャン」と、メリークリスマスの「メリー」を語源としているそうです。

それくらい、日本人にとって、最もメジャーなスパークリングワインはシャンパンなのではないでしょうか。

実際には、シャンパンとは、フランスのシャンパーニュ地方の瓶内二次発酵を行って造られたワインの事を指します。一定の条件を満たしたもののみ名乗ることができる名称なのです。



皆さん今日は持ち込み可ということもあって、かなり気持ちの良い活動内容となりました

スパークリングワインを造る際、ワイン中に炭酸ガスを含ませるには色々な方法がありますが、シャンパンを造る時のこの瓶内二次発酵という方法は、一番手間のかかる方法のひとつです。

ちなみに、シャンパンと同じような瓶内二次発酵という方法で作られているスパークリングワインの中には、スペインのカバのように、シャンパンよりぐっとお手頃価格で購入できるものもあります。

さて、冒頭のグラスの中の飲み物の話に戻ります。

赤でもロゼでもなければ、白のスパークリングワインかな？なんて思うじゃないですか。

でも、違いました。それは香りを確かめようと、グラスに鼻を寄せた時に分かります。なんと、鼻をかすめるのは吟醸香！グラスの中からは日本酒独特の香りが放たれていました。

フルーティーな香りと味、優しい甘味が広がるこのお酒の正体。

それは『獺祭 スパークリング』でした！

美味しかったので調べていて知ったのですが、獺祭 スパークリングもシャンパンと同じ、瓶内二次発酵の製法で造られているそうです。

ワインが大好き。でもワインだけじゃありません！

美味しいお酒と料理のマリアージュを楽しみながら、楽しく語る、それがワイン会の活動です。

(ワインサークル幹事 相原妙美)



皆さん上機嫌で締めとなりました。次回も楽しみにしています！

で…今回の犯人はコイツです！！→





## 《テニスサークル》

藤沢白門会テニスサークルでは9月10日(火)に善行テニスコートにて1コート予約して開催いたしました。今回は初めての試みで18時30分から20時30分までの平日の夜間に開催を致しました。台風15号が通過した後ですが6名の参加がありました。

前半は1コートに4名が入って打ち合いをしました。代わる代わる休憩をしているメンバーと交代をしながらショットやボレー、サーブなどの確認をしてウォーミングアップを兼ねて練習を行いました。



サーブを放つ鉢嶺さん(奥) 藤沢白門会指折りのスポーツマンです

後半は6名で組み合わせを変えながらダブルスゲームを行いました。終了間際までメンバーそれぞれが日頃の練習の成果を、勝負を通じて披露いたしました。勝ち負けにこだわりを持ちながらもメンバー同士の交流が図られたと思います。

初めての夜間の開催でしたが残暑が残る時期に気持ちよく汗を流すことができ、今後のサークル活動へ向けて新たな経験となりました。次回は昼間にするか夜間にするか、メンバーの都合を考慮して開催致します。



(テニスサークル幹事 重田博章)



初めてのナイターも盛会裏に。  
お疲れさまでした！

# 《釣りサークル》

2019年9月21日(土)曇り

いつものとおり大磯漁港より出船。参加者は、私以下4名。悲しいことに中大OBは、私一人。他は、東京理科大・武蔵工業大学など・・・。

例年は、江ノ島沖・葉山沖を目指すのが今年はなんと早川沖。海岸から200mくらいの沖合いで竿を垂らす。



今年の藤沢白門会参加者は一人だけのため、大学OB連合を結成。  
せめて大漁であればと願うばかりの船出…



獲物は、キハダマグロ・戻りカツオの2種。釣り糸を垂らし、こませを撒きながらアタリを待つ。竿を上下させてコマセを撒いて獲物に食わせる。この行為を何十回・何百回となくやります。しかし、なかなか、喰いません。当たり前ですが、そう簡単には釣れないです。

しかし、10時過ぎ位に、なんとアタリが!!!一気にラインが200m位引き出されます。それを手巻きで巻いてきます。格闘技です。巻き取れば引き出され。これを繰り返して取り込み。30分以上の格闘のすえ取り込み。

1尾目は、キハダマグロ32kg、96cmのオスでした。それから、30分後位ですか、またアタリが。2尾目です。同様に繰り返して何と15分で取り込み完了。38kg、メーターオーバーでした。

だがしかしこの釣果!この笑顔!  
釣り人の特権です!!

マグロ以外は、戻りカツオを1尾ゲット。これだから、やめられないのです。ちなみに、キハダマグロは、私以外の釣り人がゲットしたものです。私は、戻りカツオを1尾だけです。悲しい現実です。しかし、マグロ釣りの醍醐味を知ったらやめられません。釣り人の特権ですから。

毎年、5月か6月と9月の年2回開催しております。ぜひ会員の皆様もご参加ください。釣らせませす。友人でマグロを釣った人は、10年来マグロ釣りをして初めてゲットしたと、カツオを7尾ゲットした人も初めての太漁で、喜んでいました。

初夏の釣りは、鯯の予定です。皆様のご参加をおまちしております。

(釣りサークル幹事 大沼敬正)



丸々とした獲物を担いで帰って捌いて心行くまで喰らい尽くすまでが釣りサークルの醍醐味です！



# 《ゴルフサークル》

## 第34回ゴルフコンペを開催

2020年1月30日(木)、快晴に恵まれた絶好のゴルフ日和のもと第34回ゴルフコンペを挙行了た。舞台は大厚木カントリークラブ桜コース。筆者は2000年から当コースのメンバーとなっており、過去から数多くのコンペを開催してきた。藤沢白門会結成10周年記念コンペもこの地で行った。当日の参加者は10名で、日頃の実力を発揮すべく、全力でコースに挑んだ。初めて参加となった小林智巳さん、十数年ぶりに元気にその姿をみせていただいた千葉大先輩など、それぞれ澄み切った冬空のもと、大いにプレーを楽しんだ。その模様を写真でご覧ください。



全員集合！気合十分！



左から川俣、岸本、西尾、小林



左から高橋、梅澤、市川



左から澤田、千葉、遠藤



プレーの様子



競技は、新ペリア方式で、優勝は川俣誠（筆者）、2位は遠藤主計さん、3位は澤田英樹さん。賞にはからまなかったが、80歳目の千葉先輩はグロス80と見事なプレーだった。スコアは次のとおりである。

|    |       |     |     |     |      |     |      |
|----|-------|-----|-----|-----|------|-----|------|
| 優勝 | 川俣 誠  | グロス | 82  | ハンデ | 8.4  | ネット | 73.6 |
| 2位 | 遠藤 主計 | グロス | 103 | ハンデ | 27.6 | ネット | 75.4 |
| 3位 | 澤田 英樹 | グロス | 102 | ハンデ | 26.4 | ネット | 75.6 |



プレー後表彰式での談笑

優勝者を中心に記念撮影

## 県下白門合同ゴルフコンペ ～雨模様の中で～

2019年9月18日（水）、藤沢市のゴルフ場、芙蓉カントリークラブにおいて、横浜白門会が幹事となり、令和元年度の県下白門合同ゴルフコンペが開催された。9組36名が県内白門会から参加し、藤沢白門会からは6名だった。

当日は、降ったり止んだりの生憎の雨模様となったが、アメリモマケズ参加者全員が「完走」した。筆者の自宅からほど近い場所に、芙蓉カントリークラブはある。車で7~8分走って、急坂を一気に登るとエントランスに到着する。筆者も何度かラウンドしたが、なかなか侮れないコースである。距離はさほど長くなく、街中にあるためアップダウンも少なく、好スコアが出そうなものだが、狭くて曲がりくねったフェアウェー、ティーショットでドライバーが持てないホールなど、簡単にスコアを作らせてくれない要素が多々あり、加えて当日は雨も時々降ったため、一段と難しさを増した感がある。

藤沢白門会からは、細田さん、後藤さん、澤田さん、市川さん、畑さんと川俣が参加し、細田さん、後藤さんは芙蓉カントリークラブのメンバーである。筆者は本会の畑さん、茅ヶ崎白門会の薬品会長、大川幹事長と一緒に楽しくラウンドした。藤沢から参加した畑さんは81のベスグロで3位、筆者は2位に入賞した。優勝は横浜白門会の田村幹事長だった。

（ゴルフサークル幹事 川俣 誠）



表彰式の模様



藤沢白門会参加者

左から川俣、畑、細田、澤田、後藤、市川



# 《グラウンドゴルフサークル》

## 五月晴れのもと心地よい汗

5月13日（月）、秋葉台運動公園球技場においてグラウンドゴルフを行った。日程設定及び会場の予約は幹事の鉢蝋さん、道具の調達は遠藤さん、当日参加者は7名であった。サッカーグラウンドの半面を使い、8ホールを設定したが、一番長いホールは60～70mほどの距離があり、これを規定打数の3打であがるのは、思っているほど簡単ではなかった。各自が3周して、一番成績が良かったのは遠藤さんで通算1アンダーであった。ホールにボールを入れることに夢中になり、かなり長い距離ではあったが、楽しみながら歩いたこともあって、さほど疲れはなく、心地よい汗がかけた。興味のある方は健康のためにもぜひご参加いただければと思う。連絡は鉢蝋さんまで。

（文責 川俣 誠）



集合写真

（左から遠藤、吉原、鉢蝋夫人、片岡会長、鉢蝋、北口）



プレーの様子



組み分けなど相談

# 《伝統芸能鑑賞サークル》

## 中大出身落語家・講談師を応援しよう！

中央大学出身で、落語家や講談師として活動している方々がいます。落語家では、柳屋小団治、三遊亭竜楽、林家三平、春風亭三朝、桂やまと、林家つる子、講談師では田辺凌鶴、一龍齋貞奈などです。長年の落語ファンである片岡会長を中心に、最近では中大出身の落語家による落語会に会員数名が足を運んでいますし、講談師の田辺凌鶴さんは、2019年11月2日（土）に藤沢が幹事として開催した神奈川県合同白門会において講談を披露していただきました。また、わが白門会の深澤顧問は、学生時代落研に所属していて、春風亭三朝、桂やまと、林家つる子はその後輩にあたります。

こうした母校出身の皆さんを応援すること、純粋に落語や講談などを楽しむことを両立させるべく、伝統芸能鑑賞サークル（仮称）を深澤顧問に幹事をお願いし、新年度から立ち上げる計画です。他にも能や歌舞伎など、少しジャンルを広げて鑑賞したり、若手の中で興味がある会員にも加わってもらい、活動を広めたいと考えています。落語、講談を中心に伝統芸能に興味のある方、ぜひとも一緒に楽しみましょう。

（文責 川俣 誠）



「江の島寄席」のあと林家つる子と歓談（2019.8.16）





---

---

# 文芸・文化コーナー

---

---



# 藤沢白門俳句 服部 治（昭和三十五年法学部卒）

山の蝶風の間に来に舞うてをり  
歴史編む西安森の晩夏かな  
風に聞く落ち葉の道はどこまでと  
風花の淡ききらめき海に消ゆ

## 橋の灯のにじみたり秋の音

秋は静かに寄って来るのだろうか。夏の終わりころには、漠然と秋の気配を感じるものだ。風の吹きよう、雲の動き、虫の音が予兆となる。

いままで一面に茂っていた土堤の雑草群に黄色が見えてきたことでも分かる。厳しい残暑が続くと秋の訪れは待ち遠しいところ。橋の灯は梅の橋の明かりである。ほのかな灯によって、梅の橋は周りの暗い景色のなかで、ぐっと鮮明な画像となって浮かび上がる。それぞれの季節の趣を織り込んで、静かな情景となっているに違いない。

浅野川に架かる梅の橋は、かつて江戸時代、東の茶屋街に繰り出すときに渡った橋とされる。

いま瀟洒な造りとなった梅の橋は、夜の灯がつくと、独特の雰囲気を出し出す。兩岸の桜の大きな木々が、いつも季節に艶やかな空気を添えてきた。この梅の橋でいくつかの恋が生まれ、いくつかの恋が失われていったことか。

夜の橋の上から眺めると、川波がきらきらと光っている。浅瀬を流れる水の音はほとんど聞こえないくらいだ。もし、音を聞くとすれば、川魚が跳ね上がる時。そのあとは、また静かな秋の時間。

今夜は、梅の橋の灯がにじんで見える。これも秋がそっと歩み寄ってきた季節の音かもしれない。



（『俳風画風・百句』服部 治／画・佐々木国男より）

# 地元藤沢の由緒ある「夏祭り」の情景

昭和 39 年法学部卒 大木樹雄

## 藤沢宿・遊行の盆 (2019.7.27)

毎年日本の各地を代表する民族舞踊や夏祭りのイベントが、遊行寺境内及び藤沢駅周辺のメイン通りで披露されます。今年は 14 回目で、岐阜県の郡上踊りや地元藤沢のヨット踊りなどが見られました。

写真は高円寺から参加した「朱雀連」の阿波踊りの情景です。





龍口寺・龍の口竹灯籠（2019.8.4）

今年は第9回目、地元江の島にゆかりのある龍口寺の夏の風物詩「龍の口竹灯籠」を紹介します。

境内に5000基を超える竹灯籠が設置され、午後6時半一斉に点灯され山門前から遠く五重塔まで幻想的な灯籠の火に包まれます。



今年の夏は例年にない暑さでしたが、8月4日夕刻から出かけ、初めて「竹灯籠」撮影に挑戦してみました。ご覧ください。



龍の顔の見分けがつかますか

## 皇大神宮例大祭（2019.8.17）

烏森神社の名称で親しまれる鶴沼皇大神宮で、毎年8月17日に、9台の人形山車と湯立神楽の祭りが行われます。8メートルの屋台の上に人形を飾った豪華な山車が神社に集まる様は壮観です。（人形山車は藤沢市重要有形民俗文化財）

人形山車の整列の順番は決まっており、那須与一・源頼朝・神武天皇・源義経・徳川家康・楠正成・浦島太郎・日本武尊・仁徳天皇の順で境内に集まります。そして順番に勇ましいお囃子と掛け声を受け競演します。

今年も例年と同様暑い最中のお祭りでしたが、歴史ある「皇大神宮例大祭」の情景をカメラに収めて来ました。



頂上の人形は源頼朝



順次整列する人形山車

9台の人形山車が神社に集まる壮観な様



屋台の囃子を撮影してる情景



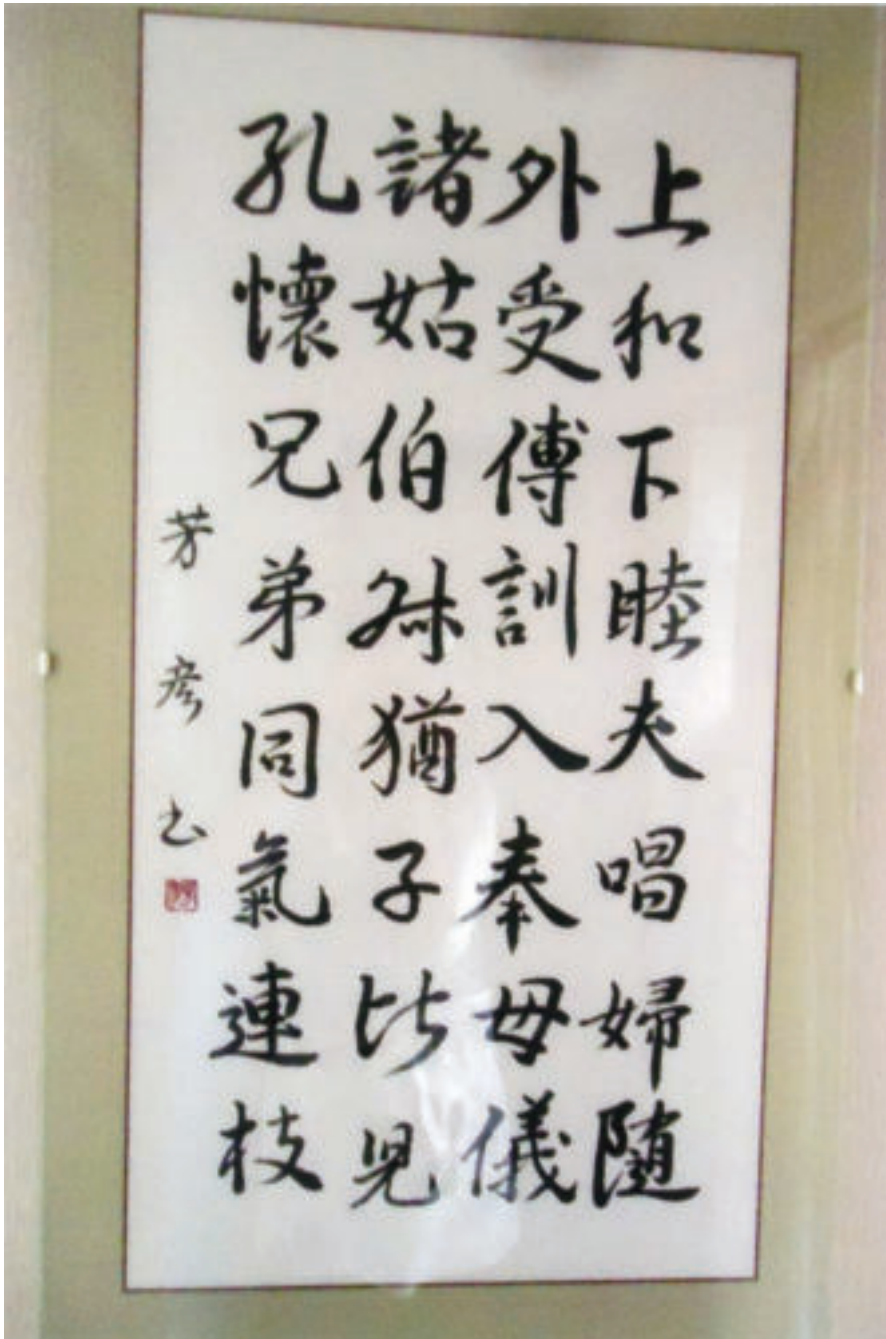
祭りを盛り上げる地元町内会の人々

# 美術（色鉛筆画・書道について）

昭和 44 年経済学部卒 城崎芳彦

\*書道：作品名「千字文」

（千字文は一千字の異なった文字による「天地元黄」から「焉哉乎也」までの四言二百五十句の誌であり、文は文章の意味であり、作者の周興嗣は梁の人である）



上 和 下 睦 夫 唱 婦 隨  
外 受 傳 訓 入 奉 母 儀  
諸 姑 伯 叔 猶 子 比 兒  
孔 懷 兄 弟 同 氣 連 枝

（訳文）

上の者が温和で、下の者もなつき、夫は妻を導き、妻は随従してうまくいく。

外では先生が教え、家庭では母が躡ける。

多くの叔父や叔母たちがいて、兄弟の子も自分の子と同様に扱う。

いつも心に残るのは兄弟の事。同じ気を受け継いだ一本の木に連なる様。



\*色鉛筆画

海外旅行の仕事をしていた関係で、ハワイへ行く機会が多く、5年前に行った時のスナップです。



作品名「ハワイ オアフ島浜辺」



作品名「オアフ島 ハナレイの教会」

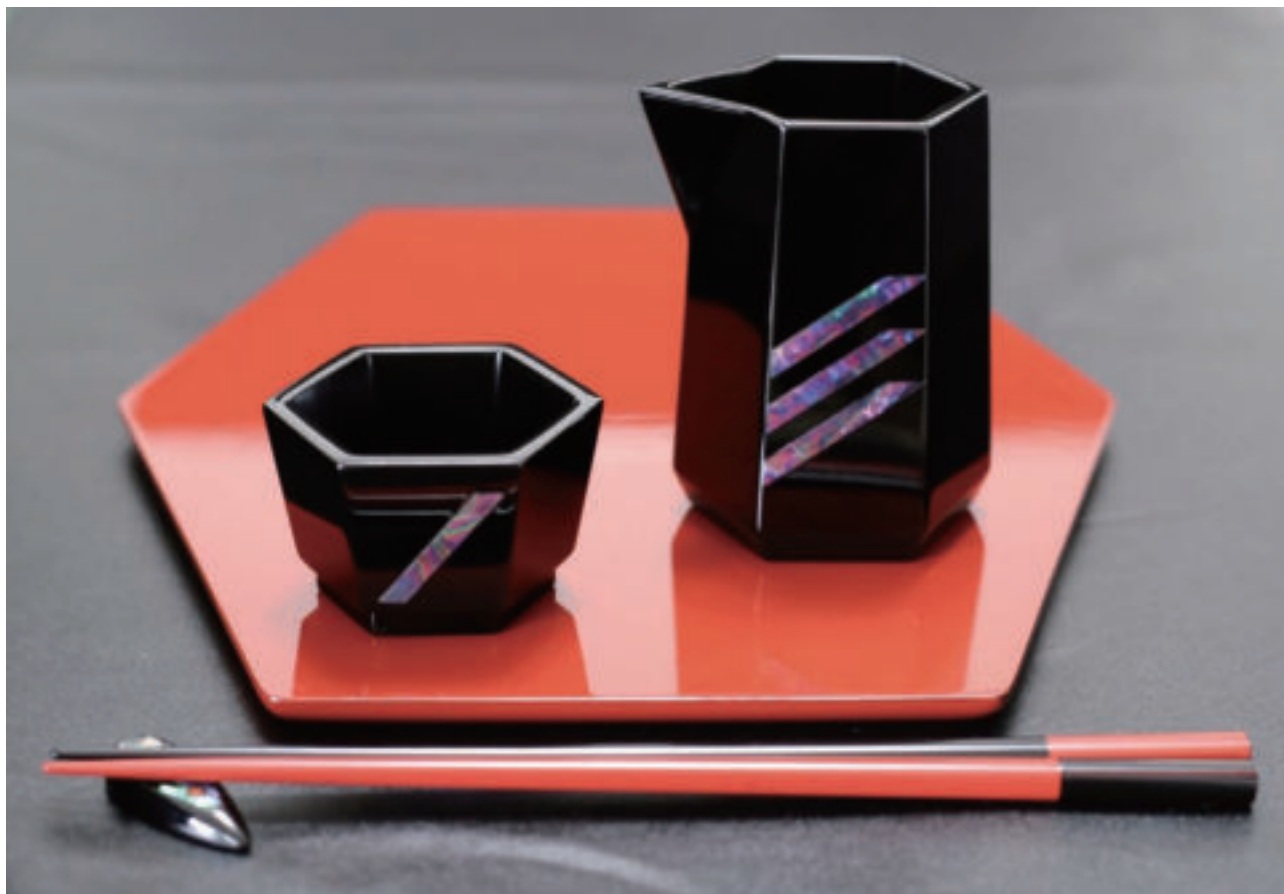
---

---

## 伝統工芸を支える心 (再掲)

昭和 61 年法学部卒 細谷幸夫

はじめまして。昨年（平成 30 年 1 月）、藤沢白門会に入会致しました細谷（ホソタニ）と申します。どうぞよろしくお願い致します。紙上で恐縮ではございますが簡単に自己紹介をさせていただきます。



昭和 36 年生まれの現在 58 歳。石川県輪島市内の小学校・中学校・県立輪島高校から法学部に入学。多摩校舎移転後の 4 期生になります。当時の校舎は白くピカピカでこんな綺麗な校舎で授業が受けられるなんてと学校に行くのが楽しみでした。ただ、今のようにモノレールはなく京王線の多摩動物公園駅から徒歩で山道を登らなければなりません。おまけに、途中の立看には「野犬、毒バチ、マムシに注意！」と書いてある。更に夜になると動物園内の動物の遠吠えが聞こえ緊張しながら山道を下りていた記憶があります。3 年次には家永三郎先生のゼミに入り学びました。後に先生は 2001 年のノーベル平和賞候補に挙げられました。

卒業後はカメラメーカーに入社。営業、販売企画、商品販促等の部署を経験。事業計画の策定、商品カタログや販売マニュアル作成、顧客管理システムの設計等々、色々な部署を経験しました。そうした複数の部署での業務を経験したことが現在の自分自身を形作っています。自分の中では東日本大震災を経験したことが人生の転機になりました。それまでは自分のことが中心だったのが「何か社会の役に立ちたい」という思いが強くなりました。4 年前に会社の役職定年を迎えたタイミングで社内の CSR 本部東北復興推進室（仙台）への異動を希望。2 年間、岩手、宮城、福島県の被災自治体の

---

---

サポートに従事しました。その後、2年半前に帰京し現在は営業に復帰し藤沢市内に住んでいます。また、子供が現在法学部に在学していることから大学の父母会活動に参加。昨年からは神奈川県支部長を努めています。これも私にとっての身近な社会貢献と考えています。



実家は代々輪島塗の職人の家系で高祖父は絵師、曾祖父は指物師、祖父は下地師、母は砥ぎ物師だったことから職人のDNAを受け継いでいるようです。実は子供の頃から輪島塗の絵師を夢見ていました。ただ、この時点では先のことは深く考えずに高校受験を迎え、工業高校の工芸科を進学するも思い描いたものと現実とのギャップに挫折。当時の輪島塗は塗師屋が長年もっている絵を写して描くというものが多く、自分が思っていた新しいデザインを取り入れようとする土壌がないと感じたのが理由です。

翌年普通高校に入り直して以降は絵師の夢を断念していました。歳を重ね輪島塗の現状（輪島塗に従事していた同級生はバブル以降、職を失い、今も輪島塗の仕事に携わっている者は半数に満たないと思われま）を垣間見る度に「新しい魅力ある作品を作り、少しでも故郷の役に立ちたい」という願望が強くなり、5年前から自らの作品を作り始めています。国内には塗物の産地が50ヶ所弱あります。その中でも、輪島塗は日本の塗物の最高峰と言われています。その特徴は「堅牢」、「優美」、「安全」の3点です。



1. 「堅牢」：丈夫で長持ち。木に直接漆を塗るのではなく、布を貼り木地を強化。また、輪島で採取される珪藻土を漆に混ぜることで表面を更に硬化(ガラスコーティングに近い)させます。
2. 「優美」：沈金や蒔絵、螺鈿を配する。その優美しさを長年にわたって維持します。
3. 「安全」：「食の安全」が社会問題化する中、食器に対しても安全が求められています。輪島塗の材料は木とその樹液です。すべて自然のものです。また、輪島塗の実際の製造工程は「124工程」ともいわれるほどに複雑です。世代物「3世代(100年)もつ」といわれる程に耐久性があるのですが、その分手間暇を要しコストが嵩みます。価格面が合わずプラスチック製品は勿論、他産地の漆器に押されているのが現状です。

製作するものは酒器、日常使う食器類、女性用のアクセサリーが中心です。いずれも螺鈿をデザインのポイントにして制作しています。4年前に故郷の輪島市内で初の個展開催が実現。その後、輪島市、福島県(帰還困難地域にある自治体の要請)にて個展を開催。3年前からは地元藤沢市内にて個展を定期的で開催しています。併せて、2年前から書道出版の会社からの依頼でブログ(※)を書いています。

ご興味がありましたら、覗いて頂ければ幸いです。輪島塗に携わる家に生まれたことを誇りに、輪島塗を本来の良さを活かしつつ更に一層ブランド化する。一方で別の角度から再評価してもらえるように新たな魅力や用途を開発・提案する。出来るだけ多くの日本人、外国人に見て評価を頂くことで日本を代表する伝統工芸の維持・復興に微力ながら貢献出来れば嬉しいです。

(※) 天来書院ブログ「螺鈿と輪島塗」細谷忠兵衛



注)本記事は前号 23 号からの再掲載の為、時系列が 1 年前のものとなっております。ご了承下さい。

---

---

# 母校の近況・組織図

---

---



# 国際系新学部の魅力

新学部

1

## 国際経営学部

Faculty of Global Management

グローバルビジネスリーダーとして  
国際社会を生き抜く力を身につける詳細は  
Webサイトへ

国境を越え、地球規模で企業活動が行われる今の時代のビジネスをリードするのに不可欠な要素を学びます。まず、専門科目の経営学を徹底して“英語”で学び、企業経営に必要な戦略、財務、人的資源管理、財務、グローバル経済や国際地域研究などの関連科目についても英語で修得。1年次から海外留学が必須で、外国人学生とのディスカッションや企業訪問を行い、国際感覚やコミュニケーション力を養います。

### 卒業後の未来像

- 海外で活躍!「グローバルビジネスリーダー」
- 世界規模の経営戦略を練る  
「経営コンサルタント・シンクタンク」
- 日本と世界を結ぶ「海外企業コーディネーター」
- 国際的な公的組織で活躍する「海外NGO・NPO職員」

### 国際経営学部の学び(一部抜粋)

1年:基礎

- 海外短期留学がある!
- 外国人留学生と共に英語で経営学を学ぶ

- ・経営学入門
- ・経済学入門
- ・経済地理学
- ・アカデミック英語

2年:応用

- ゼミで演習を行う
- 半年以上の中長期留学!

- ・国際経営論
- ・IT戦略論
- ・NGO/NPO論
- ・情報科学

3・4年:実践

- 海外でインターンシップ
- フィールドスタディ

- ・国際人的資源論
- ・キャッチコピー・ネーミング論
- ・グローバル化と情報法

### 先輩が語る国際経営学部の魅力

#### 「アカデミックサポートセンター(※)」

授業で疑問があっても、外国人の教員が常駐している相談所があるから安心!



#### 「コモンズ」

グループワークに最適な、円卓のある部屋で有意義な議論を交わしています



#### 「Gスクエア」

学部の垣根を越えて留学生と交流できるスペース。外国人の友達ができます



#### 「自習室」

落ち着いて勉強したいときは学部専用の自習室へ!



2019年4月から始動した、多摩キャンパスの「国際経営学部」と、市ヶ谷田町キャンパスの「国際情報学部」。それぞれの学部の特徴やお気に入りの施設について、在学生の2人に紹介してもらいました。

国際経営学部  
宮本 郁実さん  
私立関東学院六浦  
高等学校 (神奈川県)

国際情報学部  
高橋 蓮さん  
私立仙台育英学園  
高等学校 (宮城県)



新学部

2

## 国際情報学部

Faculty of Global Informatics

国際社会が抱える情報の諸問題を  
分析・解明し、解決できる人材に



詳細は  
Webサイトへ

国際情報学部は、「情報の仕組み」「情報の法学」「グローバル教養」を三本柱として学修。ICT（情報通信技術）を取り巻く諸問題を解決する総合力を養い、先進サービスを社会に実装する“新しい、未来のエキスパート”を目指します。AIやロボット技術で人間の可能性が広がる社会など、「人間中心」な、より良い社会を構築する人材、今まで以上に情報が影響力を増す未来に対応できる人材を養成します。

### 卒業後の未来像

- 世界中で使われるサービスを生み出す「ICT系グローバル企業」
- 世界に向けて情報を発信する「マスコミ業界」
- 情報分野の国際標準を構築する「国際公務員」
- ICTと法律の知識を活かす「各種民間企業」

### 国際情報学部の学び(一部抜粋)

1年:基礎

#### ○情報と法学の基礎を学ぶ

- ・国際情報概論
- ・プログラミング基礎
- ・基礎情報学
- ・法学概論

2年:応用

#### ○本場・シリコンバレーのICT企業にインターン!

#### ○ゼミ活動

- ・情報セキュリティ論
- ・情報行政法
- ・AI・ロボット法
- ・情報政策ワークショップ

3・4年:実践

#### ○株式会社スクウェア・エニックスなど、企業の講師による実践授業

- ・広告論
- ・ゲームプランニング
- ・クラウドコンピューティング
- ・企業と情報法

### 先輩が語る国際情報学部の魅力

#### 「プログラミングの授業」



プログラミングの授業は難しいけど、力がつくのが実感できてワクワクします。PC初心者でも大丈夫!

授業でのプレゼン前は、図書館にある練習スペースが重宝しています

#### 「ラーニングcommons」



BYOD [Bring Your Own Device<sup>(\*)</sup>] 対応なので、空きスペースでリラックスしながら友達と議論や相談ができて便利!

#### 「充実した課外授業」



都心なので大手企業や官公庁が近く、社会と関わる課外授業も豊富!

#### 「コミュニケーションホール」



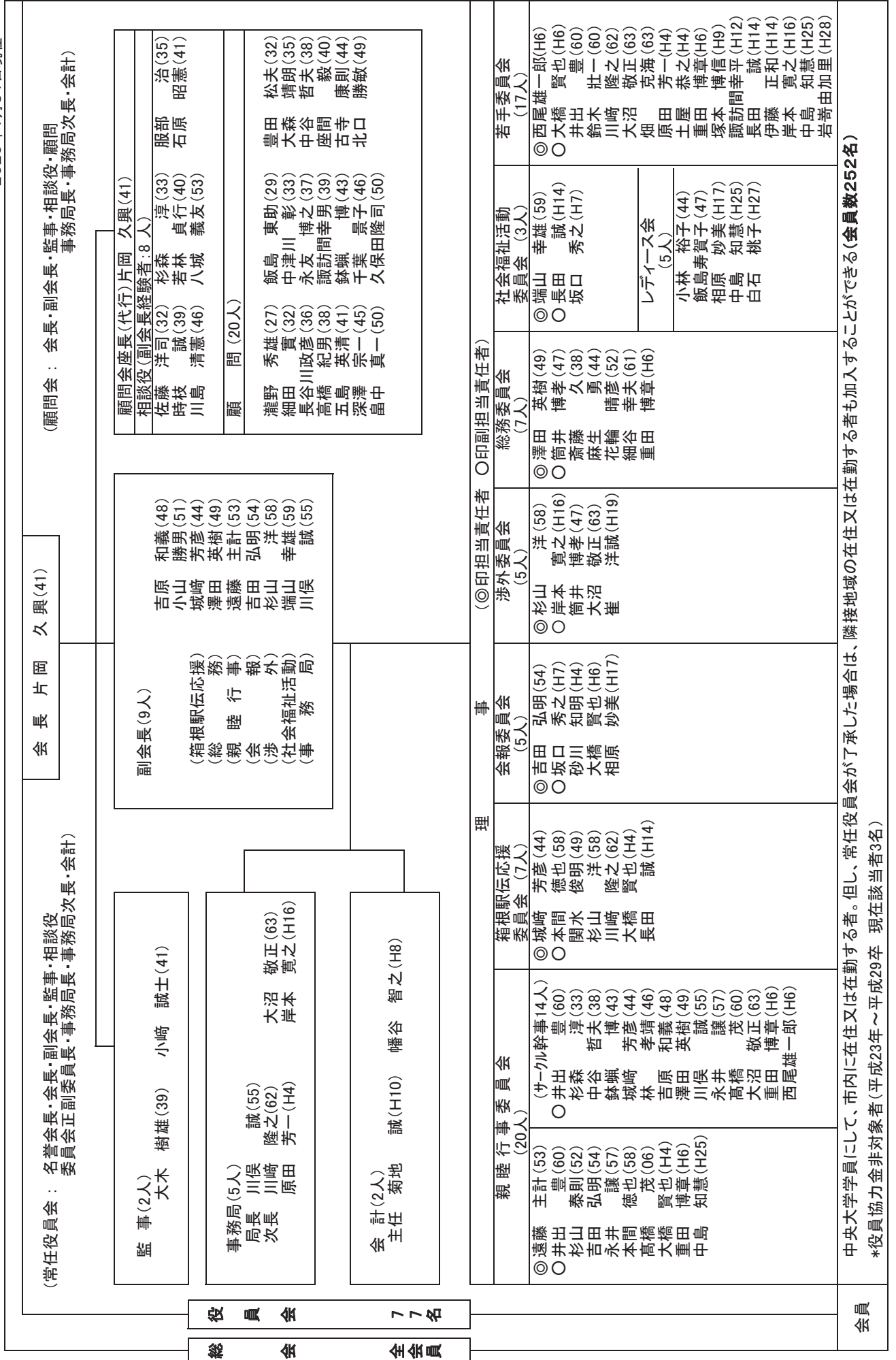
#### 「エントランスホール」



企業の方による講演会などがあります。社会との接点が多いのが魅力です

# 中央大学学員会藤沢白門会組織図

2020年11月31日現在



中央大学学員にして、市内に在住又はは在勤する者。但し、常任役員会が了承した場合、隣接地域の在住又はは在勤する者も加入することができる(会員数252名)

\*役員協力金非対象者(平成23年～平成29卒 現在該当者3名)



□新入会員（入会日順）～よろしくお願ひいたします□

平成31年

4月 小松 敏 様 昭和60年 理工学部卒

4月 狹川 知己 様 平成7年 法学部卒

4月 山下 康 様 昭和53年 文学部卒

令和元年

8月 青屋 りみ 様 平成31年 文学部卒

11月 福代 菊弥 様 平成6年 文学部卒



物故会員 謹んで哀悼の意を表します

平成31年

2月16日 ご逝去 加藤 俊治 様 昭和36年 商学部卒

3月4日 ご逝去 宮木 範男 様 昭和31年 法学部卒

4月 ご逝去 小川 祝 様 昭和33年 経済学部卒

令和元年

8月 ご逝去 牛越 弘 様 昭和36年 法学部卒

8月24日 ご逝去 田中 久義 様 昭和32年 商学部卒

令和2年

1月13日 ご逝去 西島 一光 様 昭和26年 経済学部卒

# —— 新人自己紹介 (平成 29・30 年度入会) ——

## 小林 智己さん (昭和 59 年理工学部卒)

私は昭和 59 年に理工学部を卒業し、会社(OA 機器メーカー)の関係で藤沢に住むようになりました。現在は、不動産関連の仕事をしながらか、この地と千葉の双方を行き来する生活を送っております。

そんな中、年を追うたびに、大地や太陽の自然のありがたさを知るようになり、近年では、土にまみれながら、季節を通して自家栽培を行っております。そして最近注力しているのは、数本ですがブドウなどの果樹栽培です。藤沢発祥の大実品種“藤稔”等を植えてみました。苗木の成長と収穫を楽しみに試行錯誤しながら楽しんでおります。余談ですが、雑草の成長は早く、取っても直ぐに生えてくる。ある人に、“草は漢字の如く早く育つもの”と教わり、その逞しさに関心し、草取りの苦勞を惜しまなくなりました。

藤沢白門会へは平成 30 年に入会させて頂き、ゴルフサークルへ参加しております。それ以外にも皆様との親睦を通し、これからも成長できたらなと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

## 早乙女 彰洋さん (平成 20 年理工学部卒／平成 22 年理工学研究科修了)

初めまして<sup>そうとめ</sup>早乙女彰洋と申します。一般的には苗字は“さおとめ”と読みますが”そうとめ”と読みます。平成 20 年度に理工学部を卒業し、その後は平成 22 年度に理工学研究科を修了しました。修了後は技術者としてコンピュータのデータを記憶する装置であるハードディスクドライブの開発に携わっています。会社の事業所が藤沢市内にあり私自身も藤沢に住んでいたこと、また箱根駅伝で母校が頑張っている姿を見て沿道で直接応援したいと思い昨年の箱根駅伝の藤沢白門会による応援に参加させて頂きました。それをきっかけに藤沢白門会に入会をしました。若輩者ですがよろしくお願ひいたします。

## 本庄 卓磨さん (平成 23 年法学部卒)

出身は厚木で、現在は横浜の鶴屋町で弁護士をしております。大学在学時は只木誠先生の刑法ゼミに所属し、炎の塔(多摩研究室)で勉強しておりました。個人・法人どちらからもご相談いただいておりますが、主な取り扱い分野は離婚、労働問題、交通事故、相続、刑事事件です。

6 歳から中学までは剣道をしておりましたが、最近ではたまにウォーキングをする程度となっております。

趣味はラーメン店巡り、スポーツ観戦です。家族構成は妻と子 2 人(息子は 3 歳、娘は生後数ヶ月)です。

藤沢白門会に加入させていただいたことで多くの卒業生の方々と交流することができ、白門会の規模の大きさを改めて実感するとともに、とても嬉しく思っております。

今後ともよろしくお願ひいたします。

# 藤沢白門会讃歌（新曲）

中央大学学生会藤沢支部

作詞：服部 治

作曲：藤沢 健児

1 いま湘南に ひかり溢れて  
前へ 集い会う  
心豊かに 人生の季節を映し  
意気を新たに 肩寄せて  
讃えよう 中央 讃えよう 中央 中央  
われら 藤沢白門会 ここに在り

2 この街に愛 響かせて広く  
前へ 目を開き  
心静かに ふるさとの山川思う  
時は流れて 歳月を  
讃えよう 中央 讃えよう 中央 中央  
われら 藤沢白門会 ここに見る

4 あの松風も さわやかに吹く  
前へ 友と手を  
心昂めて 潮騒を遠くに聴けば  
若き日近く 想い来る  
讃えよう 中央 讃えよう 中央 中央  
われら 藤沢白門会 ここに立つ

# 藤沢白門会讃歌

(いま湘南に)

作詞：服部 治

作曲：藤沢 健児

行進曲風に

(1) い ま

♩ - 80

しょう ー なん に ひか り あ ふ ー れ て ま え  
 まち に あ い ひび か せ ひ ー ろ く ま え  
 ま つ か ぜ も さ わ や か に ー ふ く ま え

へ つ ど い あ う こ ー こ ろ ゆ た か に  
 へ め を ひ ら き こ ー こ ろ し ず か に  
 へ と も と 手 を こ ー こ ろ た か め て

じん せい の き せ つ を う つ し い き を あ ら た に か た よ せ て た た  
 ふ る さ と の や ま か わ お も う と き は な が れ て と し つ き を た た  
 し お さ い を と お く に き け ば わ か き 日 ち か く お も い 来 る た た

え よ う 中 一 央 た た え よ う 中 一 央 中 央 わ れ  
 え よ う 中 一 央 た た え よ う 中 一 央 中 央 わ れ  
 え よ う 中 一 央 た た え よ う 中 一 央 中 央 わ れ

ら ふ じ さ わ は く も ん かい こ 一 こ 一 に あ り (1)・(2) (2) こ の  
 ら ふ じ さ わ は く も ん かい こ 一 こ 一 に み る (3) あ の  
 ら ふ じ さ わ は く も ん かい こ 一 こ 一 に 立

(3) *Fine*

*rit.*

## 中央大学校歌

石川道雄 作詞  
坂本良隆 作曲

一、草のみどりに風薫る

丘に目映き白門を

暮い集える若人が

真理の道にはげみつゝ、

栄ある歴史を承け伝う

ああ中央 我等が中央

中央の名よ光あれ

二、よしや嵐は荒ぶとも

揺がぬ意気ぞいや昂く

春の驕奢の花ならで

みのりの秋やめざすらむ

学びの園こそ豊かなれ

ああ中央 我等が中央

中央の名よ誉あれ

三、いざ起て友よ時は今

新しき世のあさぼらけ

胸に血潮の高鳴りや

湧く歌声も晴れやかに

自由の天地ぞ展けゆく

ああ中央 我等が中央

中央の名よ崇あれ

藤沢市の花



フジ

藤沢市の木



クロマツ

## 中央大学応援歌

中央大学学生会連立  
古閑祐西 作曲

あ、中央の若き日に

一、憧れ高く空ひろく

理想の光あやなせる

あ、中央の若き日に

伝統誇る白門の

闘い挑むはた仰げ

力、力、中央、中央

二、情熱と力の若人が

精鋭こそりふるいたつ

あ、中央の若き日に

雄叫ぶ血汐 紅は

闘魂たぎる火と燃える

力、力、中央、中央

三、我等が誇り覇者の歌

さんたり崇光我が生命

あ、中央の若き日に

今ぞ座らん覇者の座に

いざ勝どきを揚げんかな

力、力、中央、中央

## 惜別の歌

作詞 島崎藤村  
作曲 藤江英輔

一、遠き別れに耐えかけて

この高樓たかたかにのぼるかな

悲しむなかれわが友よ

旅の衣を整えよ

二、別れとといえは昔より

この人の世の常なるを

流るる水を眺むれば

夢はずかしき涙かな

三、君さやけき目の色も

君くれないの唇も

君がみどりの黒髪も

またいつか見んこの別れ

藤沢市の鳥



カワセミ

# お 願 い

## 1 会費納入のお願い

会員各位におかれましては、日頃白門会活動にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

藤沢白門会は会員相互の親睦を深めるため、会員の皆様の積極的なご参加のもと、各種行事・催事を数多く開催いたしておりますが、この藤沢白門会の運営は、会員の皆様にご負担いただいております貴重な会費収入により支えられおり、今後も活動を継続していく上で、安定した会費収入は不可欠なものでございます。

ご失念のため未納付と思われる会員におかれましては、会員各位の会費により藤沢白門会の運営がなされていることをご理解のうえ、早急に納付していただきたくお願い申し上げます。なお、納付方法等につきましては、会計担当にご確認いただきたいと思います。重ねてお願い申し上げます。

## 2 白門飛躍募金のお願い

会員各位におかれましては、既に学員時報等でご承知と存じますが、中央大学の中長期事業計画実現に向けて、『白門飛躍募金』のご案内がお手元に届けられていると思います。

藤沢白門会としましても、中央大学のさらなる発展に寄与すべく、会員各位に募金趣意書の趣旨をご理解いただき、寄付金のご協力を賜りたく、重ねてお願い申し上げます。

## 編集後記

今年は今和2年です。新しい年号になり初めての年を迎えました。例年とは違う気持ちで新年を迎えたのは、私だけではないと思います。そして藤沢白門会も令和第1号の会報をみなさまに贈ることができました。

今年の会報で、特筆すべきは全ページがカラーになったことです。今までは貴重なお写真をみなさまから頂いても、モノクロで載せていましたので、その良さが十分に伝わらず心苦しい気持ちでした。今回は、それらの写真をそのままの色で伝えることができました。ぜひ本物の良さを楽しんで頂きたいと思います。

次に会員のみなさまは、いろいろなところで活躍されています。今回は武道をされている塚本様に写真を多数配した随想をお願い致しました。ぜひお読みください。そして塚本様の人となりを感じて頂ければと思います。

前号からスタートしました文芸・文化コーナーですが、今年は大木様から祭りの写真を提供して頂きました。地元藤沢の文化を感じてもらえると思います。また前号で随想を書いて頂いた細谷様の輪島塗作品をカラーにして再掲載させていただきました。これらの作品の素晴らしい色彩を味わってください。城崎様には今年も、書画と鉛筆画を出して頂きました。城崎様の才能には感服です。服部様にも、引き続き俳句を寄せて頂きました。いつもながら素晴らしい俳句の数々ありがとうございました。

このコーナーはこれからも末長く続けていきたいと考えています。そのためには、みなさまのご協力が必要です。ぜひ、みなさまの趣味や特技で、披露できるものがあればよろしくお願ひします。

本誌の発行にあたり、原稿を投稿して頂いた会員のみなさま方をはじめ、多大なご協力を頂きました多くの方々に対し、末筆ながらこの場を借りて、心より御礼申し上げます。

(ヨッシー)

